

第 10 回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 次第

日時 令和 2 年 12 月 15 日（火）午前 11 時 00 分～

場所 本庁舎 3 階大会議室

1 発生状況について

資料 1

資料 2

2 岐阜県の対応について

資料 2

3 岐阜市の対応について

資料 3

4 その他

【配布資料】

資料 1 市内の発生状況について

資料 2 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会（第 11 回）対策本部員会議（第 23 回）

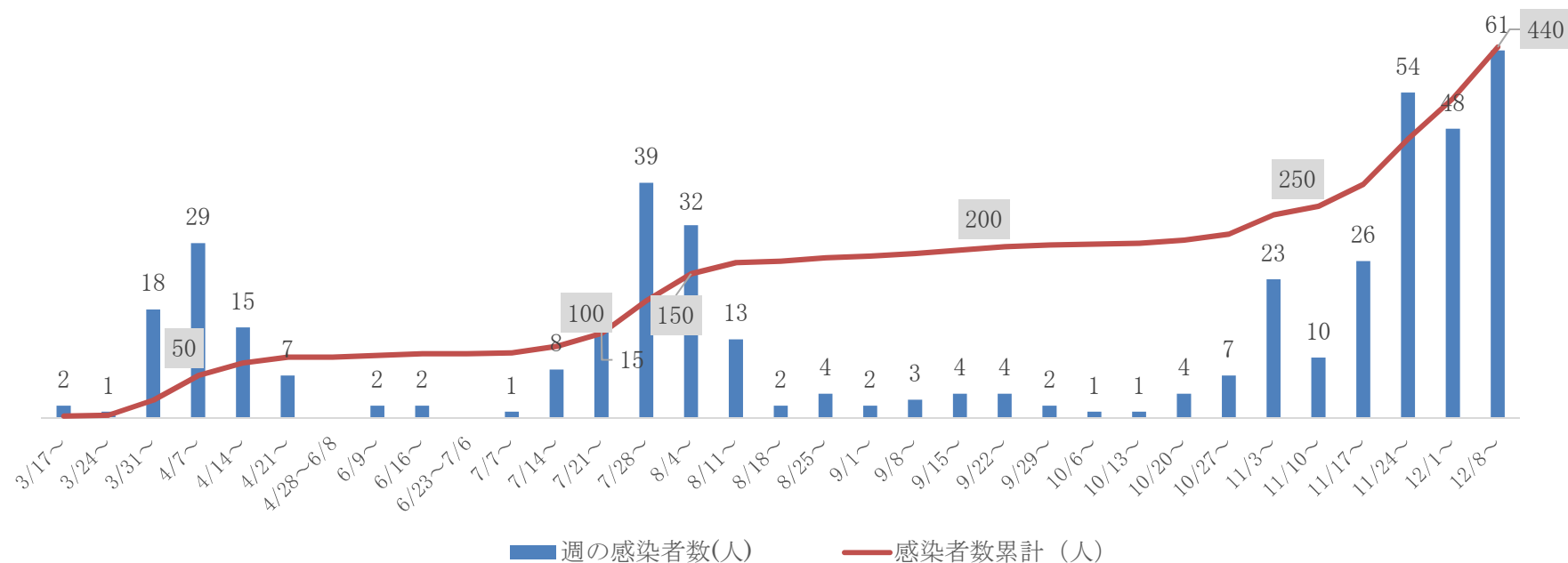
資料 3 飲食店等への啓発ポスター配布について

参考 1 岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議席表

市内の発生状況について (R2. 12. 14 時点)

1 感染者数推移 (週計)

- ・昨日までに**440人**の感染者が発生している。10月下旬より再び増加に転じ、**12月8日の週**はこれまでに**最も多い61人**であった。また、直近3週間は50人から60人台前後で**高止まり**している。
- ・11月ひと月で**116人**、12月は昨日までの**約半月で109人**と多数の感染者が連続して発生している。11月以降は225人となり、これまでの感染者数の半数を占め、**急激に増加している**のが見てとれる。

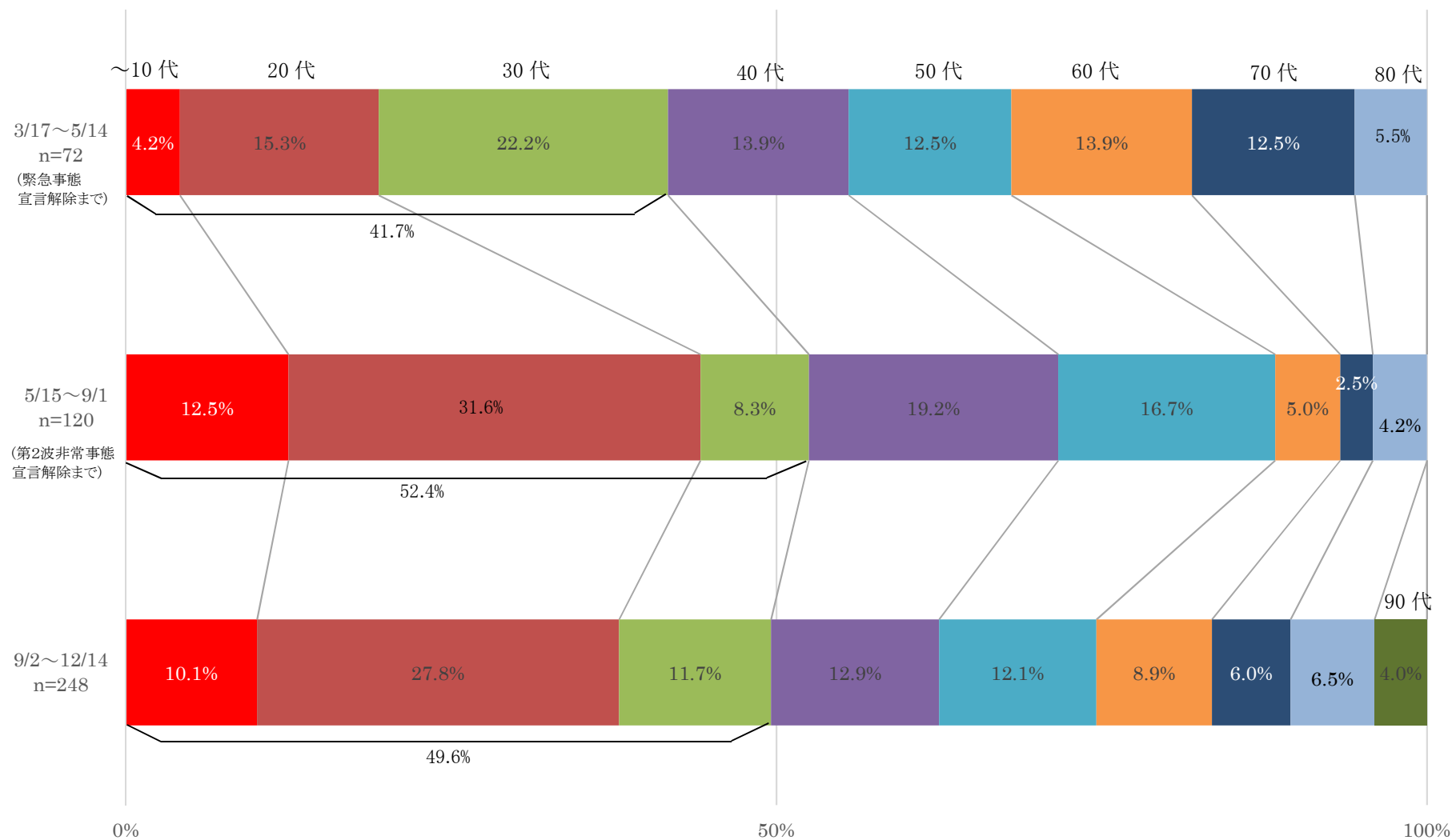


<最近の傾向>

- ・家族内感染や職場内感染が起きている。
- ・11月以降には、外国人専門学校、医療機関、飲食等から新たなクラスターが多数発生している。
- ・特に、**飲食を介した感染が多数**起きている。

2 感染者の年代別割合の比較

- ・感染者のおよそ半分は30代以下の若年層であり、中でも20代が約30%を占め最も多い。
- ・9月以降は40代～80代の感染者がそれぞれ10%前後を占めている。また、90代の感染者が新たに発生し、60代以上が増加した。



岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第11回）
対策本部本部員会議（第23回）

日 時：令和2年12月14日（月）
17：30～

場 所：県庁4階 特別会議室

1 県内の感染状況について

（1）各県の感染状況

資料1－1

（2）県内の感染状況

資料1－2

2 県の緊急対策について

資料2

3 参考

・ 年末年始における留意事項に関する国通知

参考資料

**岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第 1 1 回） 対策本部本部員会議（第 2 3 回） 出席者名簿**

日時：令和 2 年 1 2 月 1 4 日（月） 1 7 : 3 0 ~
場所：岐阜県庁 4 階 特別会議室

1 市町村

市名	氏名等	備考
岐阜市	柴橋 正直 市長	県庁
大垣市	小川 敏 市長	T V
高山市	國島 芳明 市長	T V
多治見市	古川 雅典 市長	T V
関市	尾関 健治 市長	T V
中津川市	青山 節児 市長	T V
美濃市	武藤 鉄弘 市長	T V
瑞浪市	水野 光二 市長	T V
羽島市	松井 聡 市長	T V
恵那市	小坂 喬峰 市長	T V
美濃加茂市	伊藤 誠一 市長	T V
土岐市	加藤 淳司 市長	T V
各務原市	小鍋 泰弘 副市長	T V
可児市	富田 成輝 市長	T V
山県市	林 宏優 市長	T V
瑞穂市	森 和之 市長	T V
飛騨市	都竹 淳也 市長	T V
本巣市	大野 一彦 副市長	T V
郡上市	日置 敏明 市長	T V
下呂市	山内 登 市長	T V
海津市	松永 清彦 市長	T V

町村名	氏名等	備考
岐南町	小島 英雄 町長	T V
笠松町	古田 聖人 町長	T V
養老町	大橋 孝 町長	T V
垂井町	早野 博文 町長	T V
関ヶ原町	西脇 康世 町長	T V
神戸町	藤井 弘之 副町長	T V
輪之内町	木野 孝之 町長	T V
安八町	堀 正 町長	T V
揖斐川町	岡部 栄一 町長	T V
大野町	宇佐美 晃三 町長	T V
池田町	岡崎 和夫 町長	T V
北方町	戸部 哲哉 町長	T V
坂祝町	柴山 佳也 町長	T V
富加町	板津 徳次 町長	T V
川辺町	佐藤 光宏 町長	T V
七宗町	井戸 敬二 町長	T V
八百津町	金子 政則 町長	T V
白川町	横家 敏昭 町長	T V
東白川村	今井 俊郎 村長	T V
御嵩町	渡邊 公夫 町長	T V
白川村	成原 茂 村長	T V

2 各種団体

団体名	氏名等
岐阜県医師会	河合 直樹 会長
岐阜県歯科医師会	杉山 勝治 専務理事
岐阜県薬剤師会	有川 幸孝 専務理事
岐阜県病院協会	富田 栄一 会長
岐阜県看護協会	青木 京子 会長
岐阜県観光連盟	岸野 吉晃 会長
岐阜県経営者協会	小川 信也 会長
岐阜県商工会議所連合会	村瀬 幸雄 会長

団体名	氏名等
岐阜県中小企業団体中央会	今井 哲夫 会長
岐阜県経済同友会	鈴木 良春 筆頭代表幹事
岐阜県商店街振興組合連合会	日比野 豊 理事長
岐阜銀行協会	村瀬 幸雄 会長
大垣銀行協会	境 敏幸 会長
日本政策金融公庫 岐阜支店	梅沢 光一 支店長
商工組合中央金庫 岐阜支店	本間 逸夫 支店長

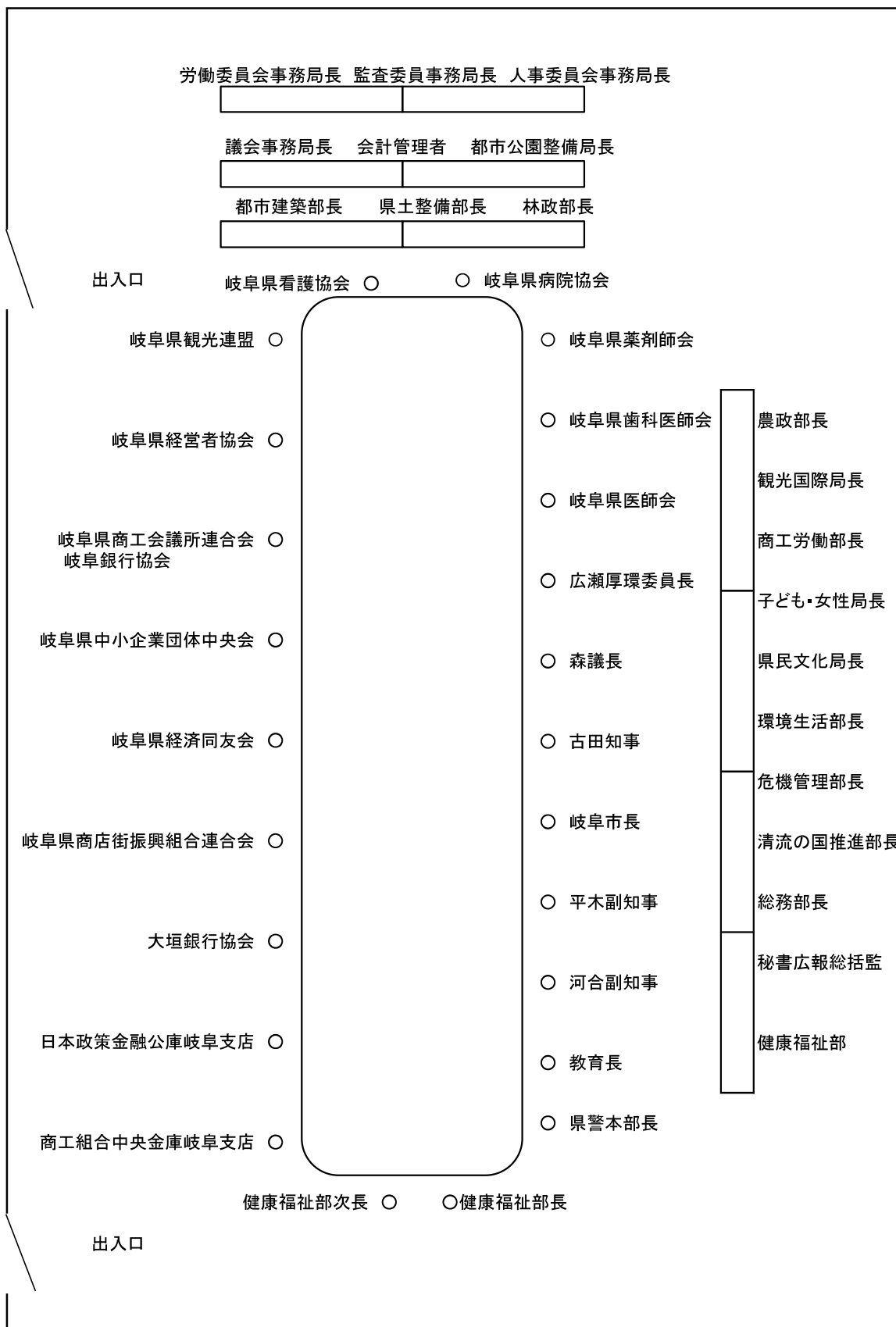
3 県

	氏名
知事	古田 肇
議長	森 正弘
厚生環境委員会委員長	広瀬 修
副知事	平木 省
副知事	河合 孝憲
教育長	安福 正寿
警察本部長	奥野 省吾
総務部長	横山 玄(代理)
清流の国推進部長	尾鼻 智
危機管理部長	渡辺 正信
環境生活部長	西垣 功朗
県民文化局長	市橋 貴仁
健康福祉部長	兼山 鎮也
子ども・女性局長	北川 幹根

	氏名
商工労働部長	崎浦 良典
観光国際局長	矢本 哲也
農政部長	長尾 安博
林政部長	萩巢 雅俊
県土整備部長	船坂 徳彦
都市建築部長	大野 真義
都市公園整備局長	湯澤 将憲
会計管理者	井川 孝明
議会事務局長	服部 敬
人事委員会事務局長	朝倉 和仁
監査委員事務局長	三田村 俊史
労働委員会事務局長	桐山 敏通
秘書広報総括監	籠橋 智基
健康福祉部次長（医療担当）	堀 裕行

**岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会(第11回) 対策本部本部員会議(第23回) 配席図**

令和2年12月14日(月)17:30～
4階特別会議室



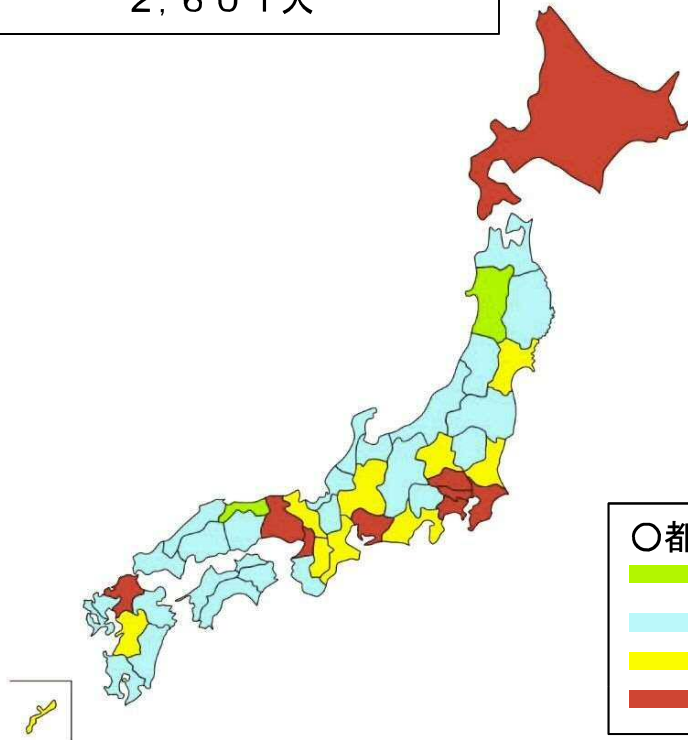
国内の感染状況

資料 1 - 1

国内の状況（NHK調べ 12月13日現在）

感染者数 18万0,630人

死亡者数 2,601人



○都道府県別感染者

緑 : 100人未満

水色 : 100～999人

黄 : 1,000～4,999人

赤 : 5,000人以上

都道府県	感染者	死亡者
北海道	11,335	315
青森	373	6
岩手	302	9
宮城	1,527	12
秋田	94	1
山形	253	1
福島	611	8
茨城	1,987	28
栃木	870	3
群馬	1,652	26
埼玉	10,438	171
千葉	8,174	98
東京	47,225	535
神奈川	15,052	225
新潟	400	2
富山	475	26
石川	910	50
福井	332	11
山梨	451	9
長野	957	6

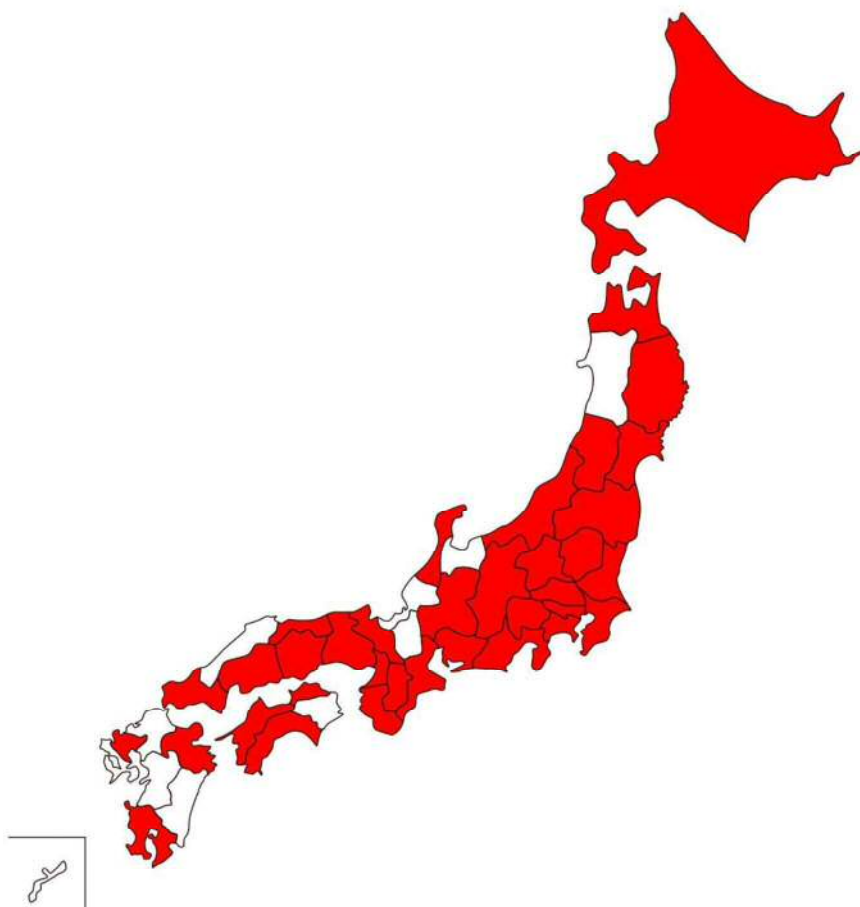
都道府県	感染者	死亡者
岐阜	1,498	20
静岡	2,182	21
愛知	12,720	144
三重	1,055	12
滋賀	863	11
京都	3,267	42
大阪	24,929	407
兵庫	7,342	111
奈良	1,457	15
和歌山	554	7
鳥取	67	0
島根	166	0
岡山	778	11
広島	1,617	8
山口	435	2
徳島	187	9
香川	200	3
愛媛	359	8
高知	357	4
福岡	6,622	110

都道府県	感染者	死亡者
佐賀	380	3
長崎	321	3
熊本	1,256	13
大分	516	3
宮崎	605	3
鹿児島	823	13
沖縄	4,805	75

9月1日以降、1日あたり最大感染者数を更新した都道府県

(発表日ベース)

12月13日現在



合計：36都道府県

都道府県	感染者数 (更新日)
北海道	304人 (11/20)
青森	26人 (10/16)
岩手	43人 (12/12)
宮城	46人 (12/11)
山形	22人 (12/12)
福島	17人 (12/11)
新潟	33人 (11/17)
茨城	85人 (12/4)
栃木	26人 (12/1)
群馬	49人 (12/9)
埼玉	199人 (12/12)
千葉	151人 (12/10)
東京	621人 (12/12)
神奈川	285人 (12/11)
山梨	21人 (12/5)
長野	32人 (12/12)
静岡	87人 (11/18)
岐阜	55人 (12/12)

都道府県	感染者数 (更新日)
愛知	245人 (12/9)
三重	29人 (11/28)
石川	27人 (9/1)
京都	75人 (12/9)
奈良	39人 (12/3)
大阪	490人 (11/22)
和歌山	15人 (11/19)
兵庫	184人 (11/26)
岡山	38人 (12/13)
広島	110人 (12/11)
山口	22人 (11/20)
鳥取	8人 (9/12)
香川	17人 (12/8)
愛媛	26人 (11/23)
高知	27人 (12/12)
佐賀	13人 (12/10)
鹿児島	40人 (12/9)
大分	25人 (12/10)

新型コロナウイルス感染症対策分科会（第18回）

日時：令和2年12月11日（金）

9時15分～11時45分

場所：合同庁舎8号館1階 講堂

議 事 次 第

1. 議 事

- （1）最近の感染状況等について
- （2）ワクチン接種について
- （3）感染状況等を踏まえた今後の対応等
- （4）その他

（配布資料）

- | | | |
|-------|---|--------------|
| 資料1 | 直近の感染状況の評価等 | （構成員提出資料） |
| 資料2－1 | 全国・県別エピカーブ | （構成員提出資料） |
| －2 | 国内移動と感染リスク | （構成員提出資料） |
| －3 | （参考資料）北海道・大阪府への人的支援 | （内閣官房） |
| 資料3－1 | 『緊急提言 最近の感染状況を踏まえた、より一層の対策強化について』への対応状況について | （厚生労働省） |
| －2 | 成田空港への入国者の自宅等待機場所までの移動手段の確保について | （国土交通省） |
| 資料4－1 | ワクチン接種について | （内閣官房・厚生労働省） |
| －2 | （参考資料）新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種について（中間とりまとめ） | （内閣官房・厚生労働省） |
| 資料5－1 | 今後の感染の状況を踏まえた対応についての分科会から政府への提言（案） | （構成員提出資料） |
| －2 | （参考資料）今後想定される感染状況と対策について（令和2年8月7日（金）） | （分科会） |
| 資料6 | 忘年会・新年会・成人式等及び帰省についての提言（案） | （構成員提出資料） |
| 資料7 | 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策における緊急提言 | （構成員提出資料） |
| 資料8 | 都道府県から寄せられている意見 | （構成員提出資料） |
| 参考資料1 | 直近の感染状況等 | |
| 参考資料2 | 都道府県の医療提供体制等の状況 | |
| 参考資料3 | 新型コロナウイルス感染症対策本部（48回）配布資料 | |

<感染状況について>

- 新規感染者数は、過去最多の水準が続いており、引き続き最大限の警戒が必要な状況。特に、北海道や首都圏、関西圏、中部圏を中心に連日多数の新規感染者数の発生が続いている。また、これまで大きな感染が見られなかった地域で感染拡大の動きが見られている。気温の低下など感染増加の要因も強まると考えられる中、現在、感染拡大が生じていない地域でも感染の拡大が生じる可能性があり、警戒が必要。

実効再生産数：全国的には1をわずかに下回る水準となっている（11月22日時点）。北海道、東京、愛知などで1週間平均で1を超える水準となっている（11月24日時点）。

- 今般の感染拡大では新規感染者の規模が大きく、高齢者の絶対数も多くなっている。これに伴い、入院者数、重症者数の増加が続いており、医療提供体制及び公衆衛生体制への負荷が増大している。また、死亡者数も増加している。重症者数は、新規感染者の動きから遅れる傾向があり、重症者数の増加がしばらく続くおそれがあるが、既に多数の入院者・重症者等への対応を続けている医療提供体制には影響が生じている。一部地域では他地域や自衛隊からの看護師の応援が始まっている。また、例えば認知症や透析の必要がある方など入院調整に困難をきたす事例もあり、予定された手術や救急の受入等の制限、病床を確保するための転院などの事例も見られている。各地で新型コロナの診療と通常の医療との両立が困難な状況がみられることも続いている。
- 感染者の検知が難しい、見えにくいクラスターが感染拡大の一因となっていることが考えられる。20-50才台の社会活動が活発な世代で移動歴のある人による2次感染がその他の世代と比べ多くなっており、こうした世代では感染しても無症状あるいは軽症のことが多いため、本人が意識しないまま感染拡大につながっていることも想定され、それが、医療機関や高齢者施設等での感染に繋がっていると考えられる。

【感染拡大地域の動向】

- ①北海道 新規感染者数は減少傾向であるが、引き続き多くの感染者が発生しており、札幌市を中心に医療体制が厳しい状況。旭川市でも院内感染が継続し、施設内感染も発生し、市中での感染もあり、厳しい状況が続いている。
- ②首都圏 東京都内全域で多くの感染者の発生が継続しており、減少傾向が見られず、医療体制は非常に厳しい状況。感染経路不明割合は約6割。首都圏全体でも、埼玉、神奈川、千葉でも感染が継続しており、医療体制が厳しい状況。特に埼玉は減少傾向が見られない。
- ③関西圏 大阪では大阪市を中心に新規感染者の発生が継続。重症者数の増加も継続し、医療体制の厳しさが増大。院内感染と市中感染が継続。感染経路不明割合は約6割。兵庫でも感染が拡大。医療体制が厳しい状況。京都では更なる増加傾向が見られる。
- ④中部圏 名古屋市とその周辺で感染が拡大。感染経路不明割合は約5割。医療機関での対応も厳しさが増大。また、静岡でも、接待を伴う飲食店等でクラスターが発生し、感染が継続。岐阜でも感染が拡大。
- ⑤沖縄県 接待を伴う飲食店などでクラスターが発生し、感染が継続。感染経路不明割合は約5割。医療体制が厳しくなりつつある。

＜今後の対応について＞

- 感染が拡大している地域では、医療資源を重症化するリスクのある者等に重点化していくために、医師が入院の必要がないと判断した無症状病原体保有者や軽症者については、介護が必要な高齢者も含めて、宿泊療養及び自宅療養の体制を整備することも検討が必要である。また、自治体のニーズに応じて、保健所への保健師等の派遣や自治体間の入院調整支援、医療体制が逼迫している地域への看護師などの医療スタッフ派遣、特に重症者が多くなる地域に対して関係学会と連携した専門医派遣等の支援を行うことが必要。
- 一方、これまで大きな感染が見られなかった地域でも感染の発生が見られており、特に比較的医療提供体制が弱い地域ではその体制が急速に悪化し、感染が急拡大する可能性があり、また、年末年始に感染が増加することで、医療提供体制全体の危機を招く可能性もある。このため、現時点では大きな感染が見られない地域でも、どこにでも急速な感染拡大が起こりうるという危機感を持って、宿泊療養施設を含め医療提供体制の準備・確保等を直ちに進める必要がある。
- 感染が拡大した中で年末年始を迎えることは、厳しい医療提供体制の中で、更なる感染拡大にも繋がる可能性もあり、都道府県知事のリーダーシップの下、感染状況を踏まえた適切な対策の速やかな実施や対策の準備を進めて行くことが求められる。また、市民の皆様にも新年会や忘年会、帰省などで感染拡大を起こさず、静かな年末年始を過ごしていただくなどの協力が必要であり、そのためのメッセージを発信していくことが求められる。
- 併せて、20-50才台の社会活動が活発な世代で移動歴のある人による2次感染がその他の世代と比べ多くなっており、特に若年層や働き盛りの世代などに対し様々なチャネルを活用することで、移動や飲食の場面も含むマスクの徹底など実際の行動変容につなげることが必要。
- これまで分科会から政府への提言を踏まえた対策が国と自治体の連携の下、実行されているが、早期に取り組んだ地域で一定の効果をあげているものの、全体として必ずしも新規感染者数を減少させることに成功しているとは言い難い。感染拡大を抑止できない状況が続けば、新型コロナウイルス感染症対策を含めた公衆衛生体制や医療提供体制全体の危機を招く可能性がある。医療提供体制が相対的に弱くなる年末年始が近づいており、緊張感を持って対応することが求められる。12月中旬を目途に感染拡大が沈静化に向かうかどうかを評価し、今後の更なる施策について早急に検討する必要がある。

直近の感染状況等

○新規感染者数の動向（対人口10万人（人））

- ・新規感染者数は、過去最多の水準が続いており、引き続き最大限の警戒が必要な状況。

	11/19～11/25	11/26～12/2	12/3～12/9
全国	11.24人（14,186人）↑	12.36人（15,591人）↑	12.61人（15,911人）↑
東京	20.74人（2,887人）↑	23.08人（3,213人）↑	22.38人（3,116人）↓
神奈川	11.58人（1,065人）↑	14.08人（1,295人）↑	12.75人（1,173人）↓
愛知	15.33人（1,158人）↑	17.58人（1,328人）↑	17.93人（1,354人）↑
大阪	27.49人（2,422人）↑	29.06人（2,560人）↑	27.27人（2,402人）↓
北海道	31.49人（1,653人）↑	28.29人（1,485人）↓	25.01人（1,313人）↓
福岡	3.35人（171人）↑	6.07人（310人）↑	7.11人（363人）↑
沖縄	15.55人（226人）↓	23.47人（341人）↑	17.83人（259人）↓

○入院患者数の動向（入院者数（対受入確保病床数））

- ・入院患者数は増加が続いている。受入確保病床に対する割合も上昇しており、一部地域では高水準となっている。

	11/18	11/25	12/2
全国	5,951人（22.1%）↑	7,826人（28.9%）↑	8,488人（31.1%）↑
東京	1,312人（32.8%）↑	1,611人（40.3%）↑	1,698人（42.5%）↑
神奈川	410人（21.1%）↑	434人（22.4%）↑	452人（23.3%）↑
愛知	286人（33.3%）↑	372人（43.3%）↑	382人（42.6%）↑
大阪	571人（40.6%）↑	767人（54.6%）↑	799人（55.8%）↑
北海道	693人（38.3%）↑	845人（46.7%）↑	935人（51.6%）↑
福岡	47人（8.5%）↓	80人（14.5%）↑	124人（22.5%）↑
沖縄	153人（35.3%）↓	180人（41.6%）↑	212人（47.4%）↑

○検査体制の動向（検査数、陽性者割合）

- ・直近の検査件数に対する陽性者の割合は6.1%であり、前週と比べ低下している。
- ※ 過去最高は緊急事態宣言時（4/6～4/12）の8.8%。7,8月の感染者増加時では、7/27～8/2に6.7%であった。

	11/16～11/22	11/23～11/29	11/30～12/6
検査件数	235,426件↑	225,194件↓	252,511件↑
陽性率	6.1%↑	6.4%↑	6.1%↓
検査件数	53,648件↑	49,873件↓	54,125件↑
陽性率	5.5%↑	5.9%↑	5.7%↓
検査件数	20,886件↑	24,204件↑	22,751件↓
陽性率	5.7%↑	4.7%↓	5.1%↑
検査件数	11,564件↑	11,500件↓	13,376件↑
陽性率	9.7%↑	10.3%↑	9.9%↓
検査件数	24,930件↑	23,115件↓	25,506件↑
陽性率	8.9%↓	10.2%↑	9.8%↓
検査件数	14,587件↑	7,691件↓	6,660件↓
陽性率	11.4%↓	20.2%↑	20.0%↓
検査件数	8,075件↑	8,901件↑	10,901件↑
陽性率	2.0%↑	2.9%↑	2.4%↓
検査件数	3,877件↑	3,477件↓	5,132件↑
陽性率	6.7%↑	8.5%↑	5.5%↓

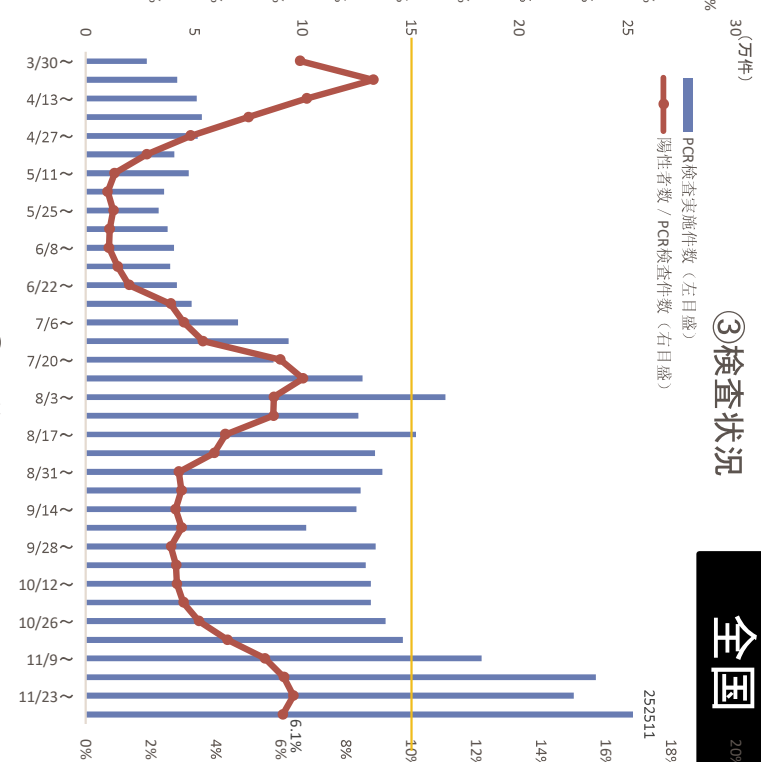
○重症者数の動向（入院者数（対受入確保病床数））

- ・入院患者数同様、増加が続いている。受入確保病床に対する割合も上昇が続き、一部地域では高水準となっている。

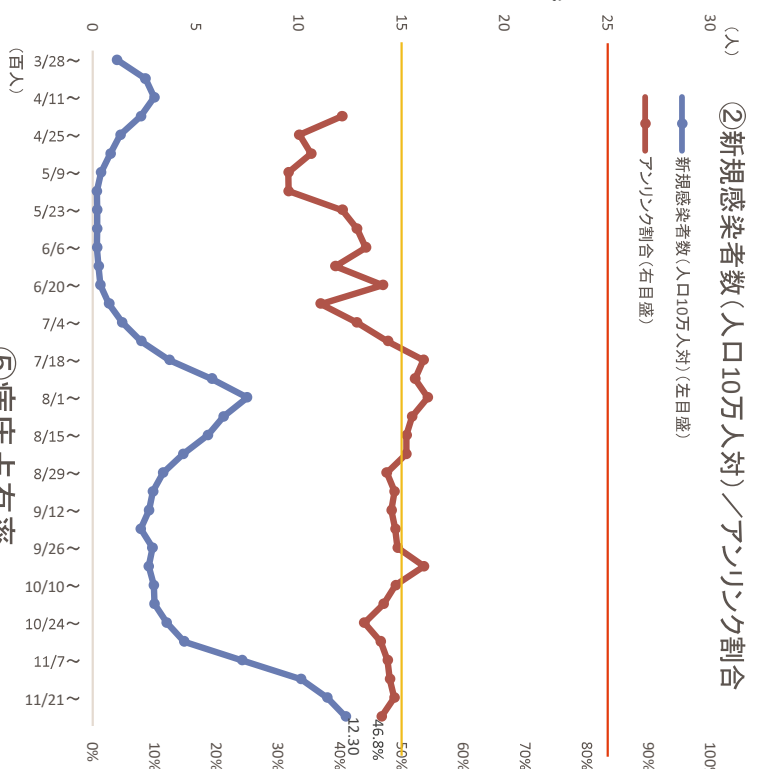
	11/18	11/25	12/2
全国	483人（13.9%）↑	682人（19.6%）↑	785人（22.0%）↑
東京	187人（37.4%）↑	250人（50.0%）↑	246人（49.2%）↓
神奈川	35人（17.5%）↑	44人（22.0%）↑	60人（30.0%）↑
愛知	15人（21.4%）→	16人（22.9%）↑	30人（42.9%）↑
大阪	103人（28.1%）↑	181人（49.5%）↑	209人（57.1%）↑
北海道	20人（11.0%）↑	19人（10.4%）↓	28人（15.4%）↑
福岡	3人（3.3%）↓	3人（3.3%）→	6人（6.7%）↑
沖縄	14人（26.4%）→	21人（39.6%）↑	26人（49.1%）↑

※ 「入院患者数の動向」は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査」による。この調査では、記載日の0時時点で調査・公表している。
重症者数については、8月14日公表分以前とは対象者の基準が異なる。↑は前週と比べ増加、↓は減少、→は同水準を意味する。

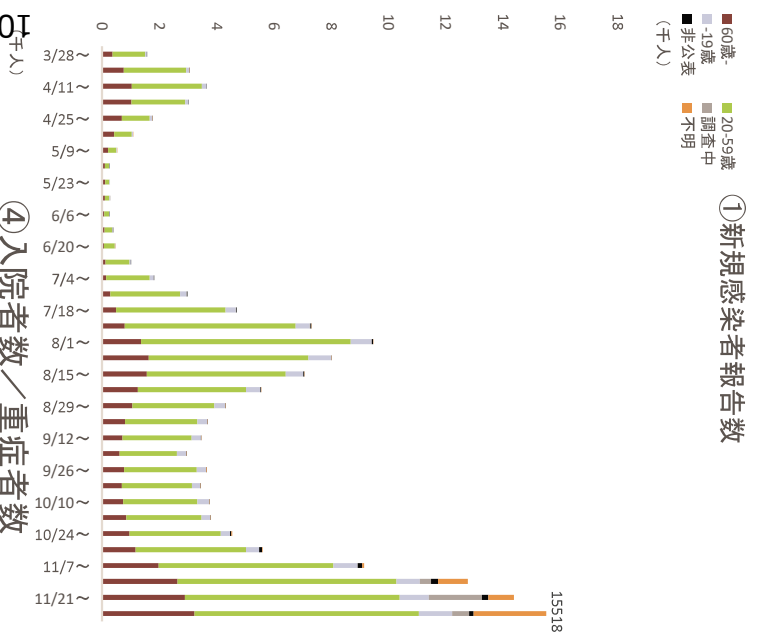
③検査状況



②新規感染者数(人口10万人対)／アソシエーション割合



①新規感染者報告数



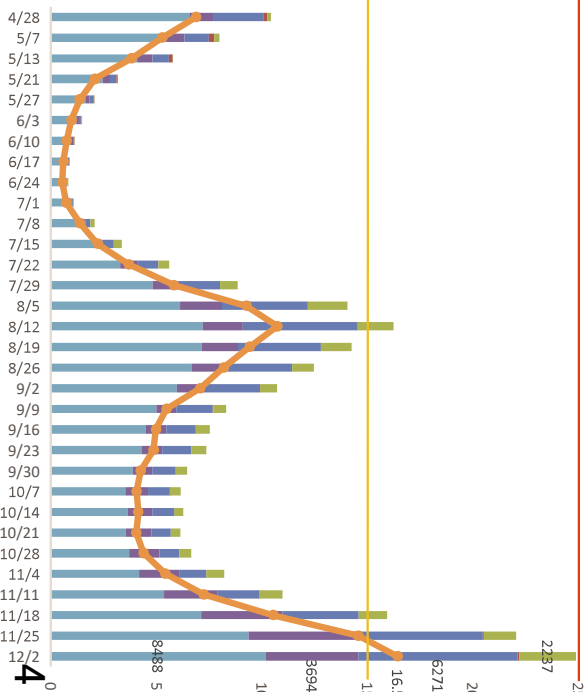
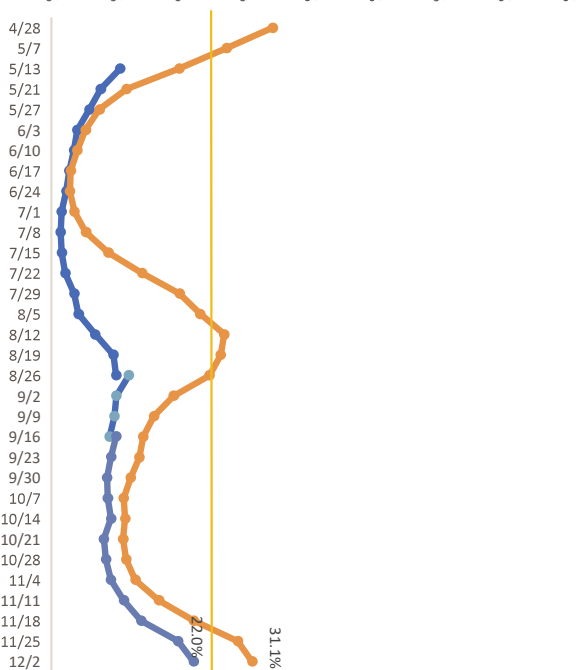
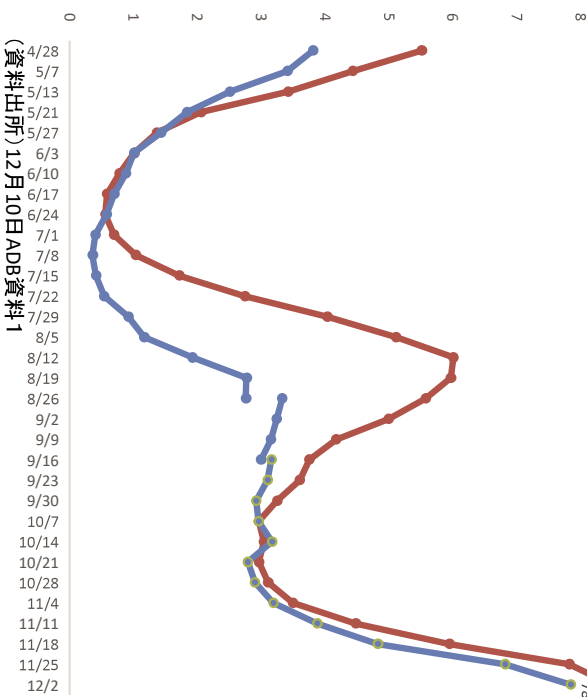
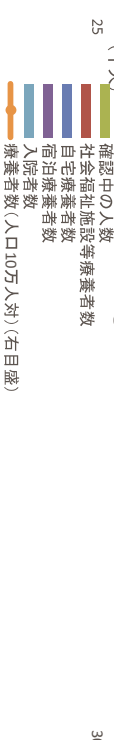
④入院者数／重症者数



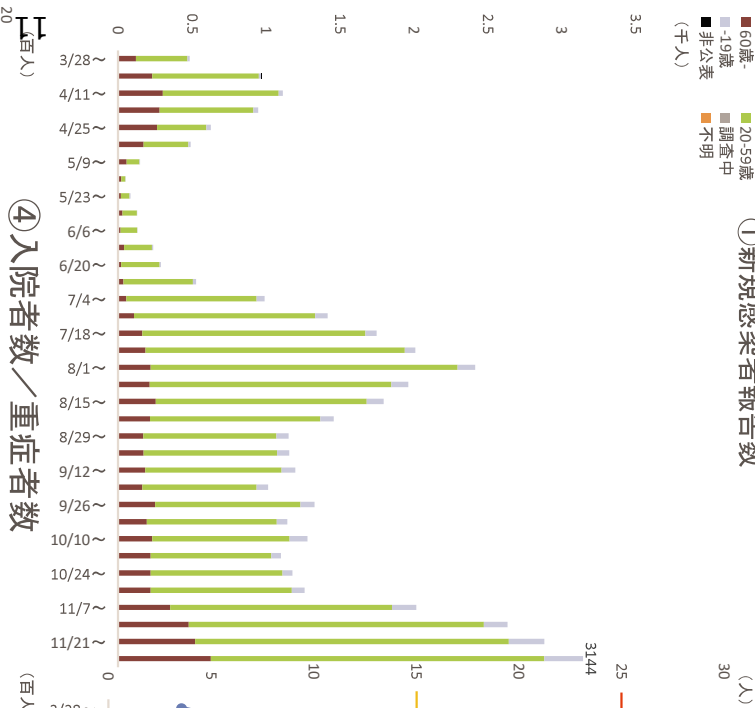
⑤病床占有率



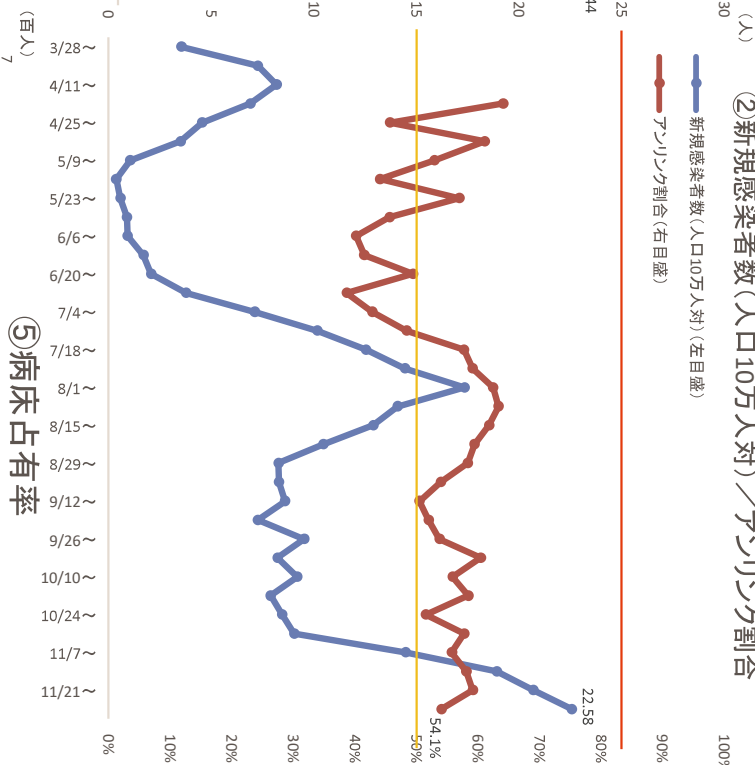
⑥療養者数



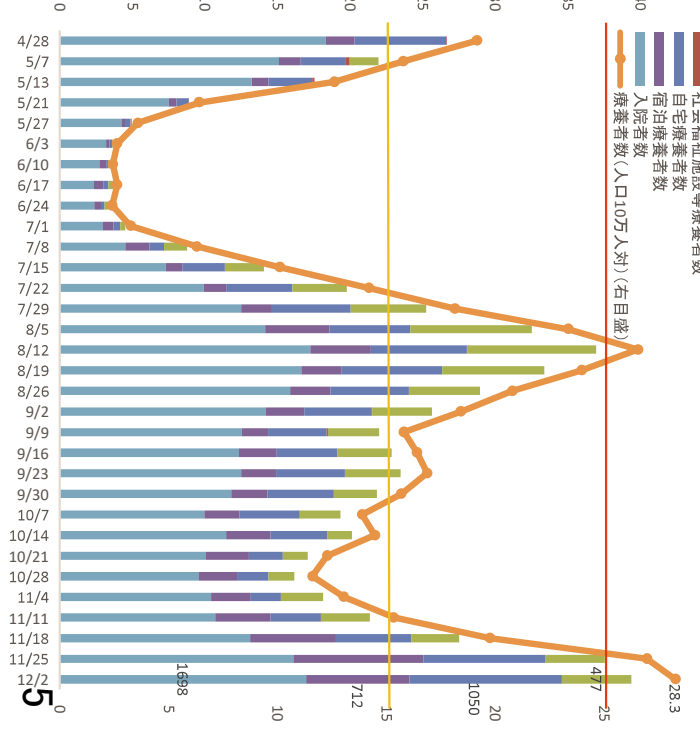
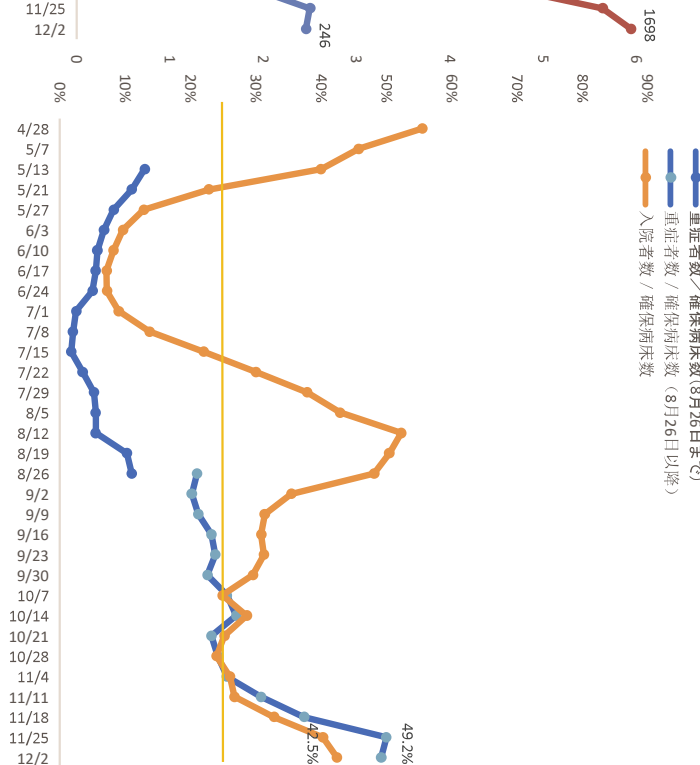
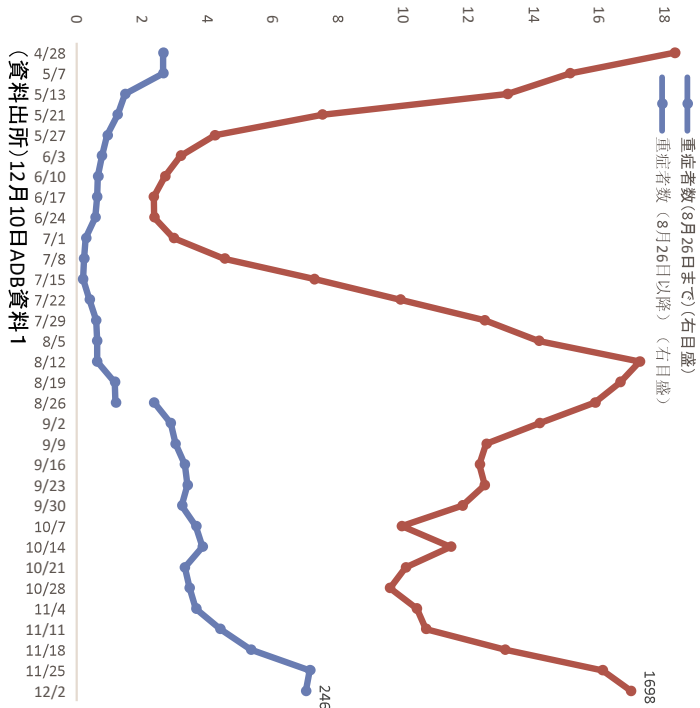
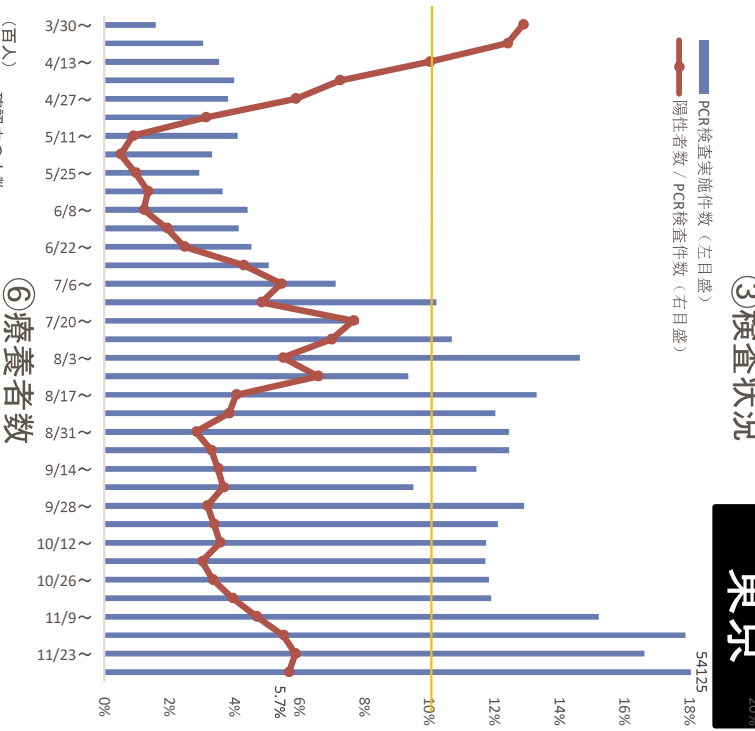
①新規感染者報告数



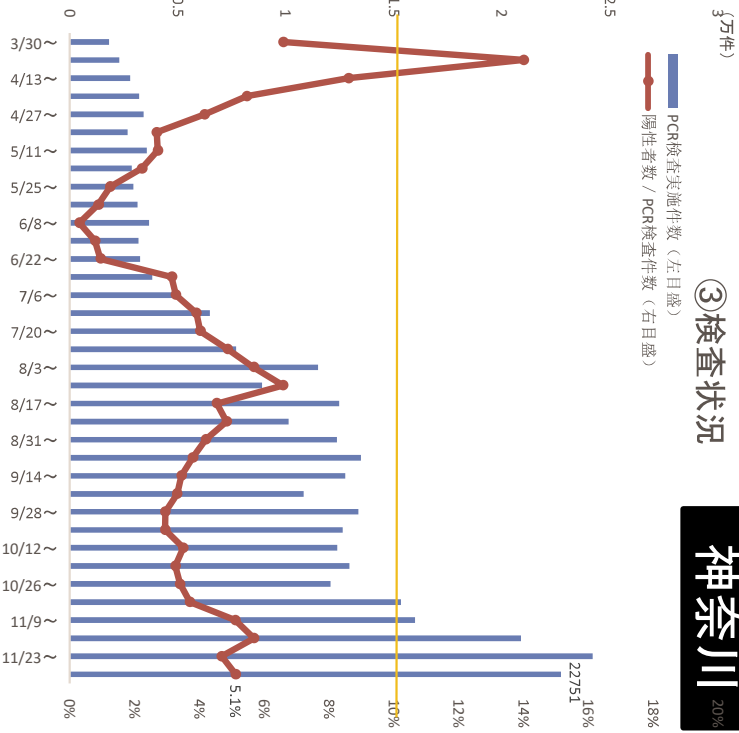
②新規感染者数(人口10万人対)／アンリンク割合



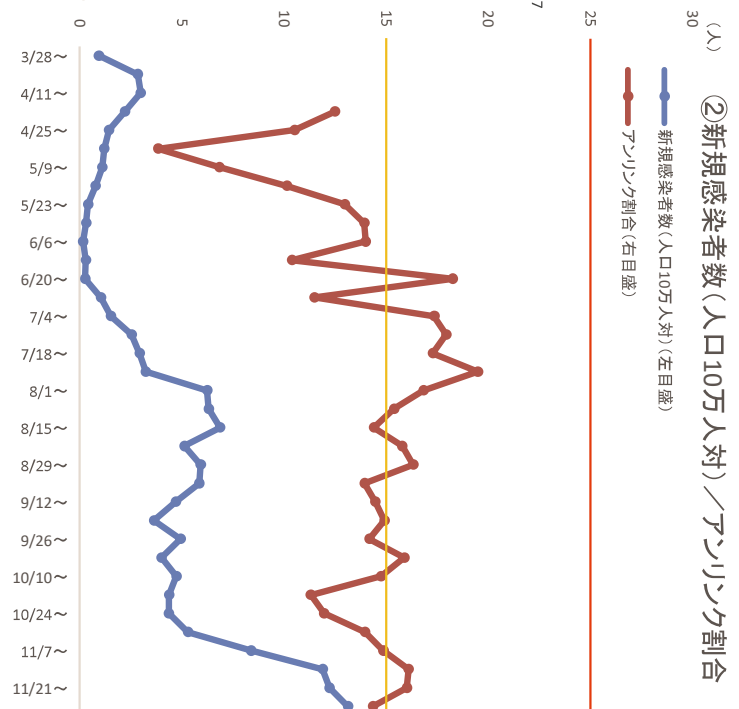
③検査状況



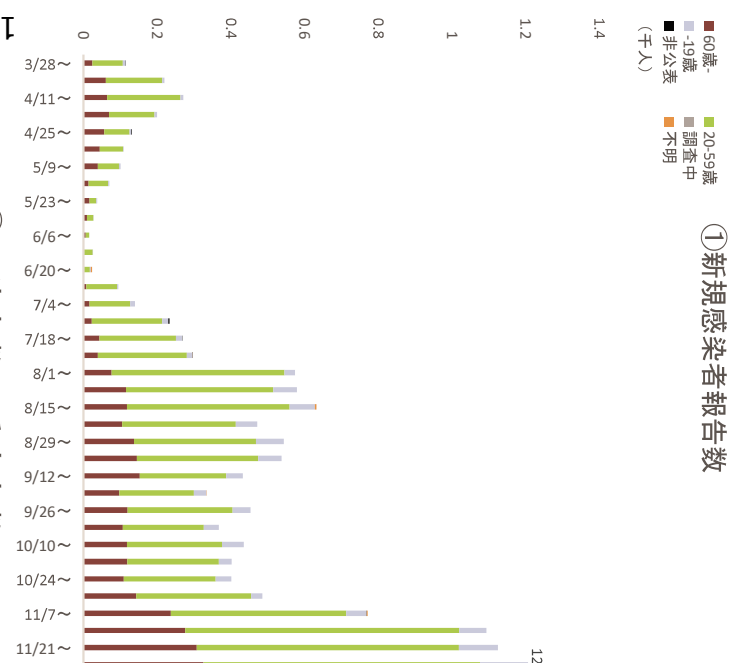
③検査状況



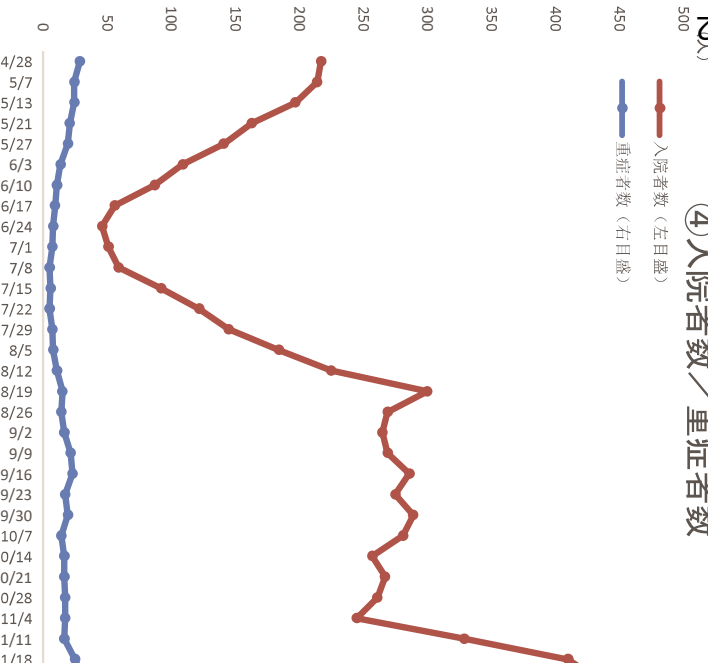
②新規感染者数(人口10万人対)／アフリック割合



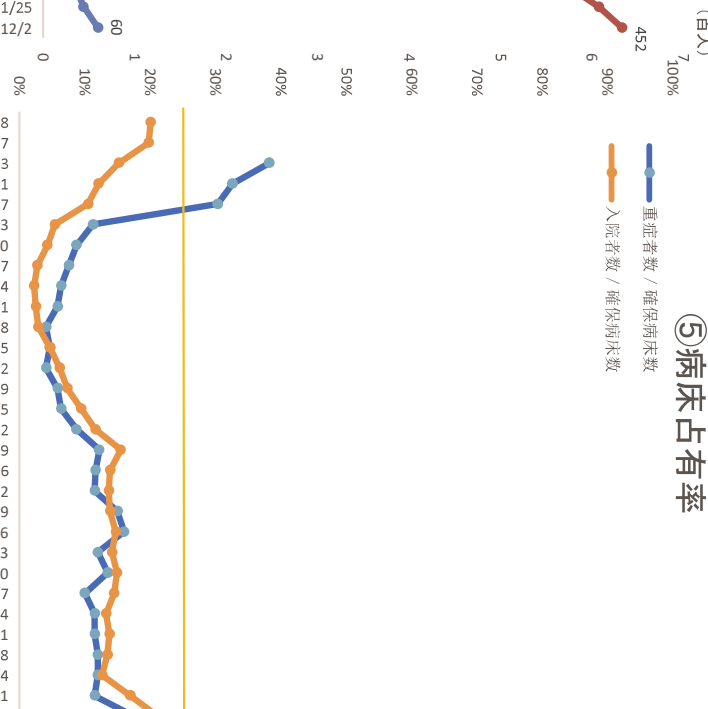
①新規感染者報告数



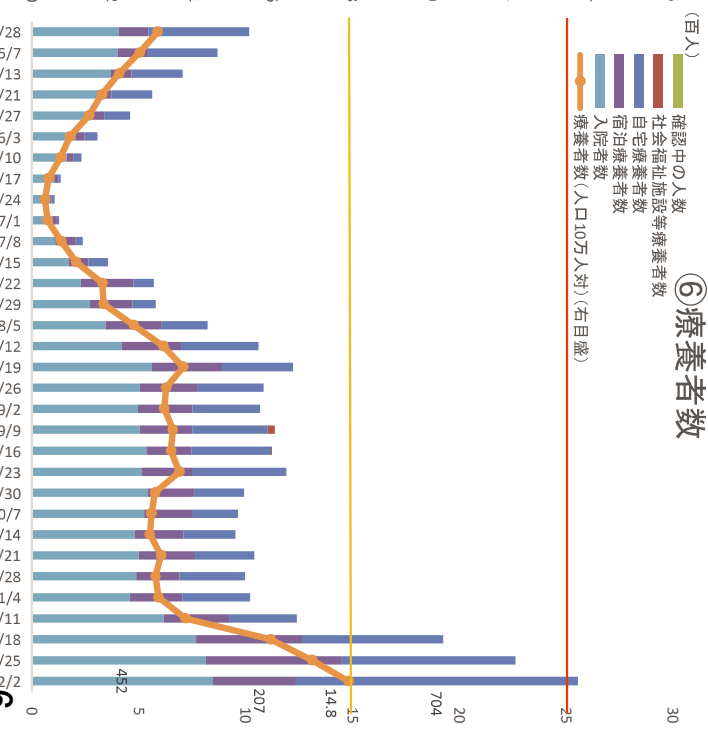
④入院者数／重症者数



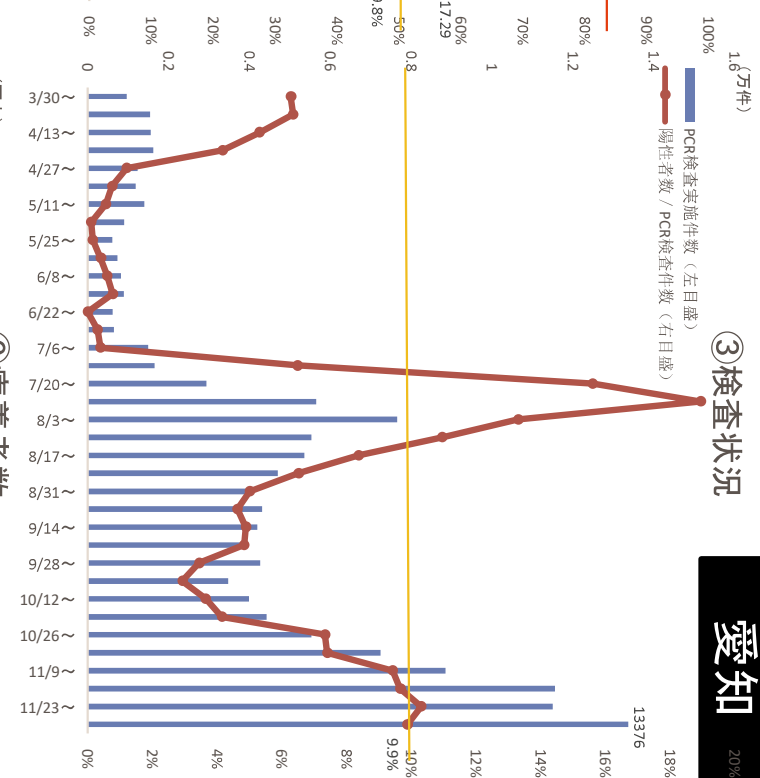
⑤病床占有率



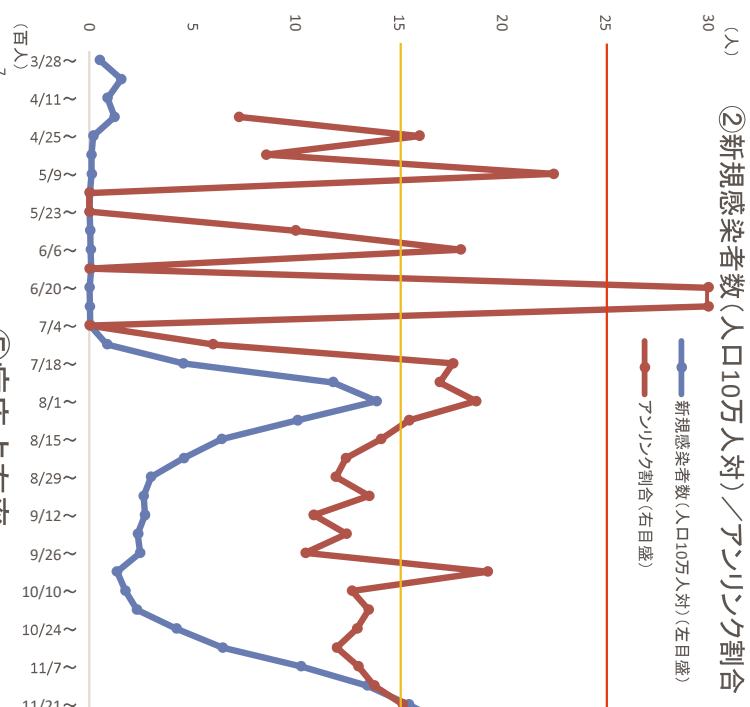
⑥療養者数



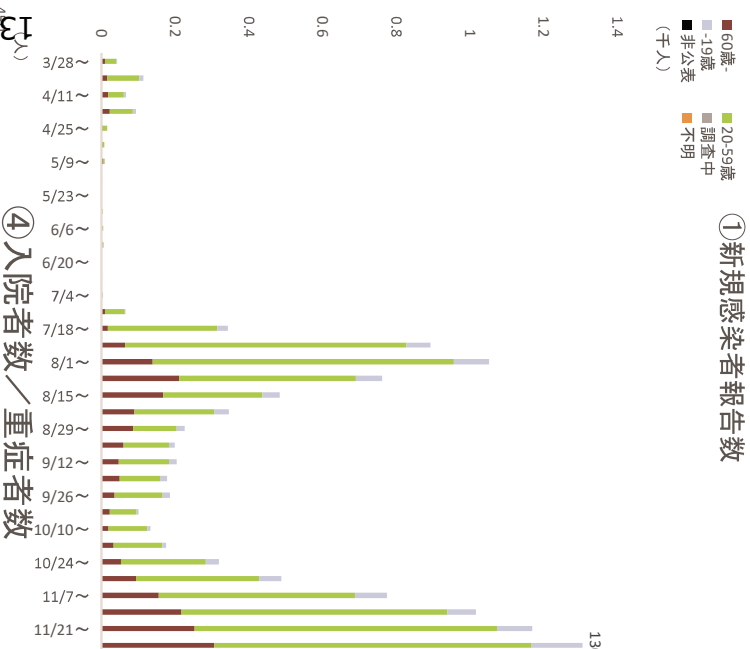
③検査状況



②新規感染者数(人口10万人対)／アソシエーション割合



①新規感染者報告数



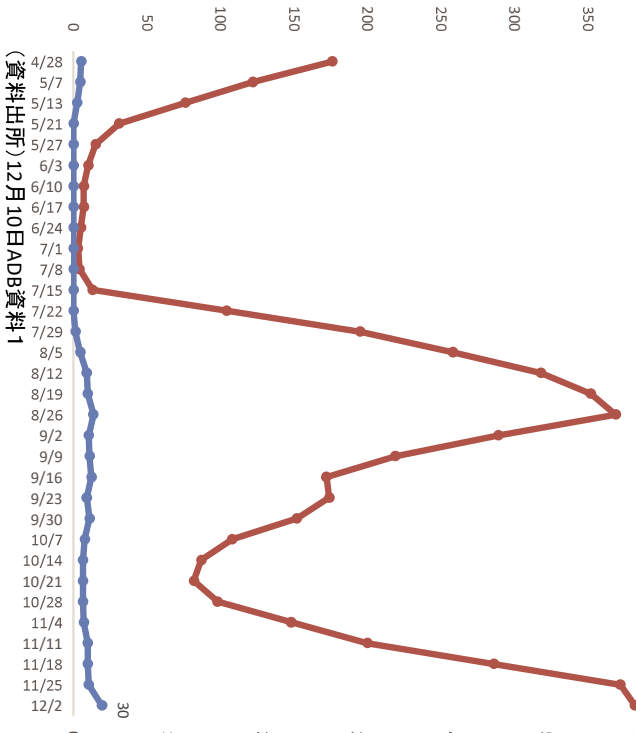
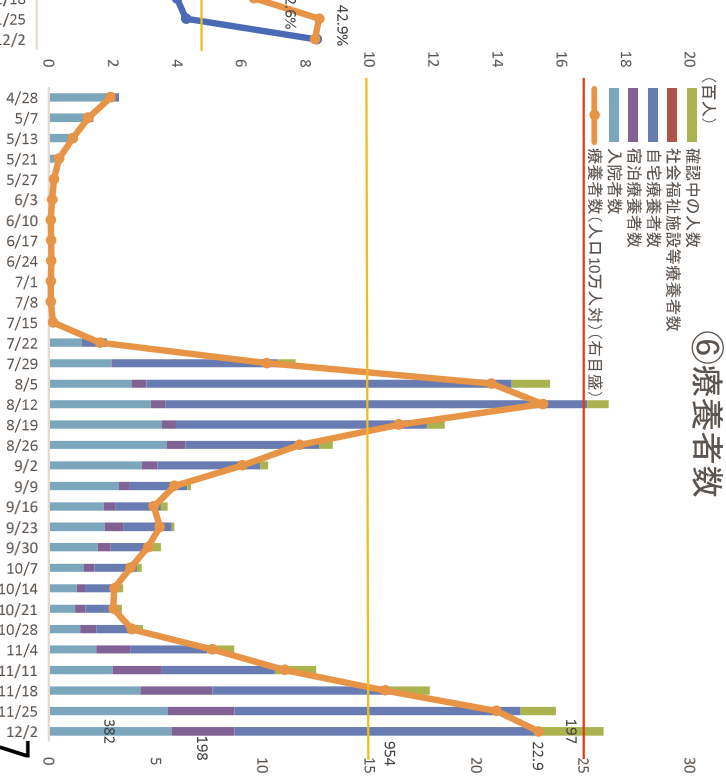
④入院者数／重症者数



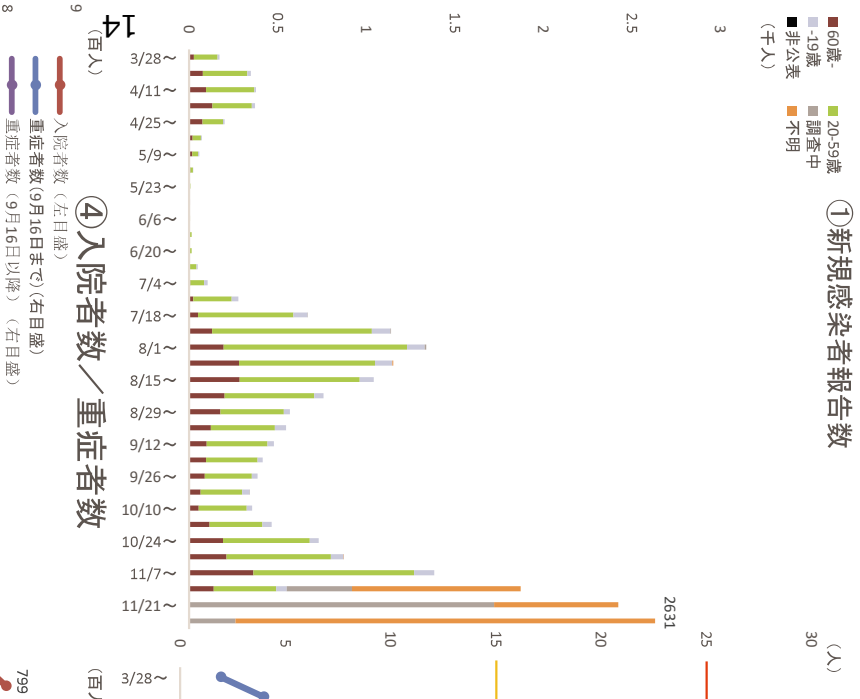
⑤病床占有率



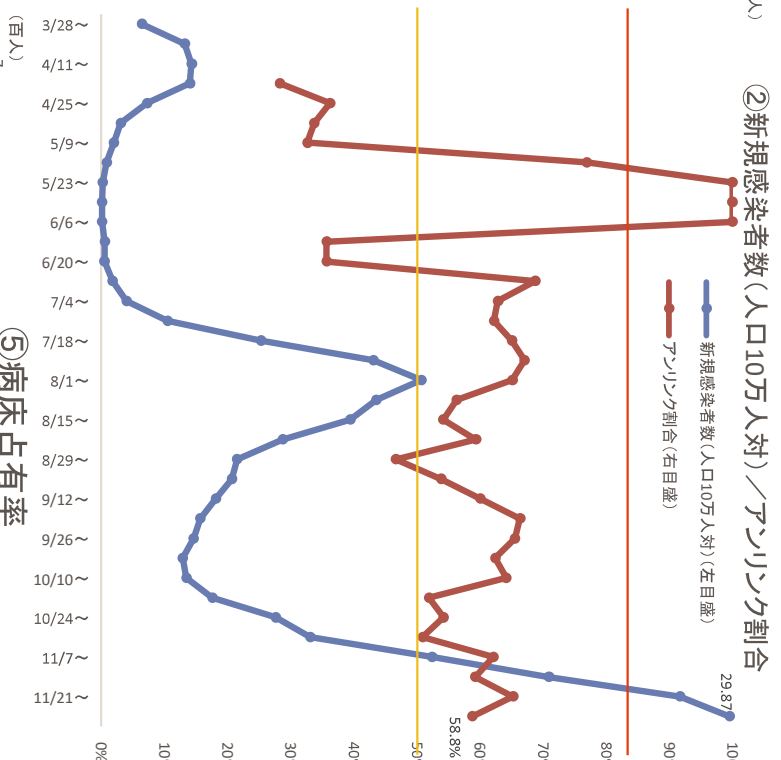
⑥療養者数



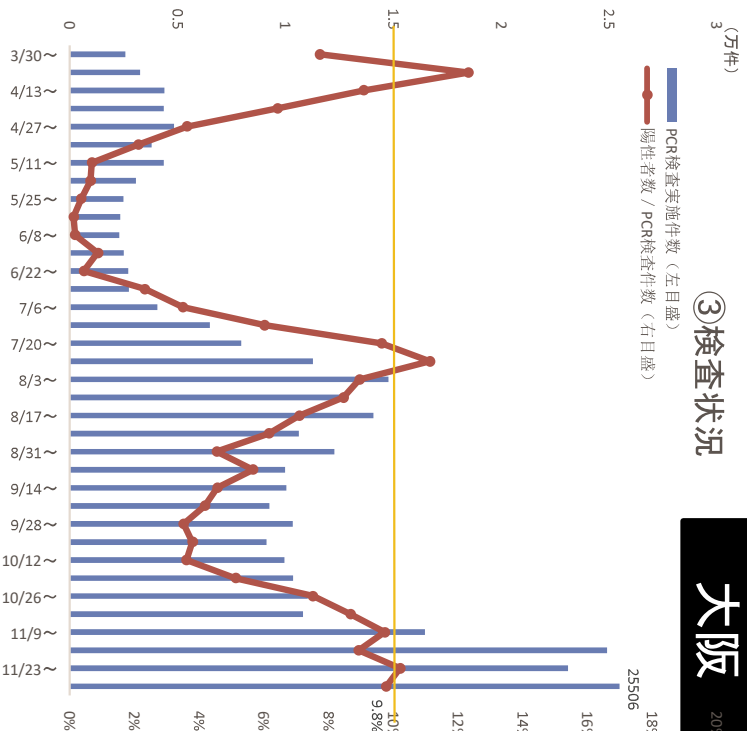
①新規感染者報告数



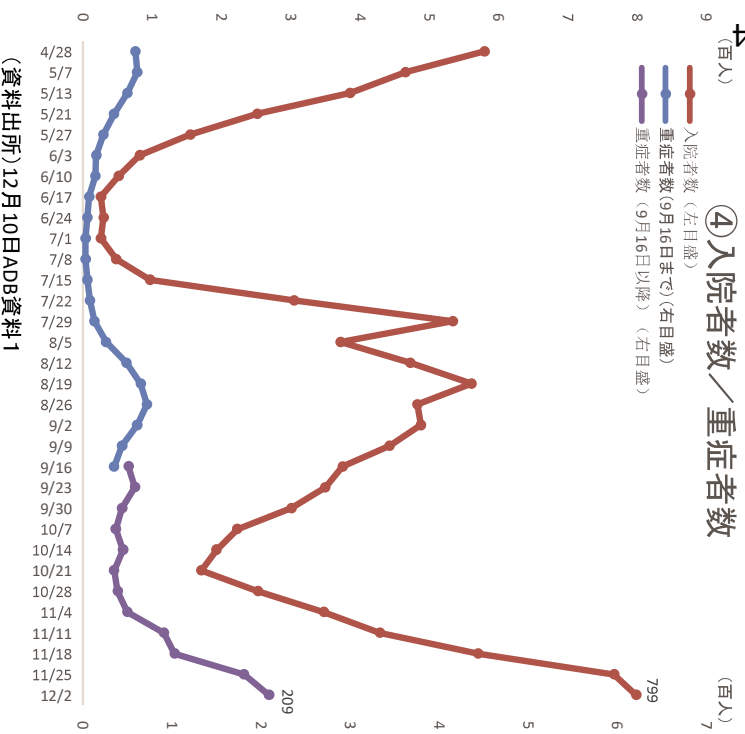
②新規感染者数(人口10万人対)／アトリンク割合



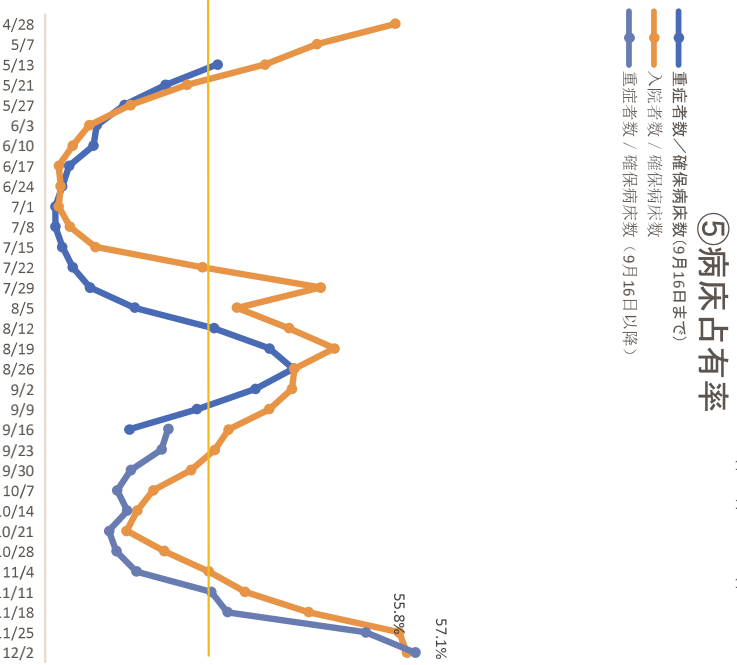
③検査状況



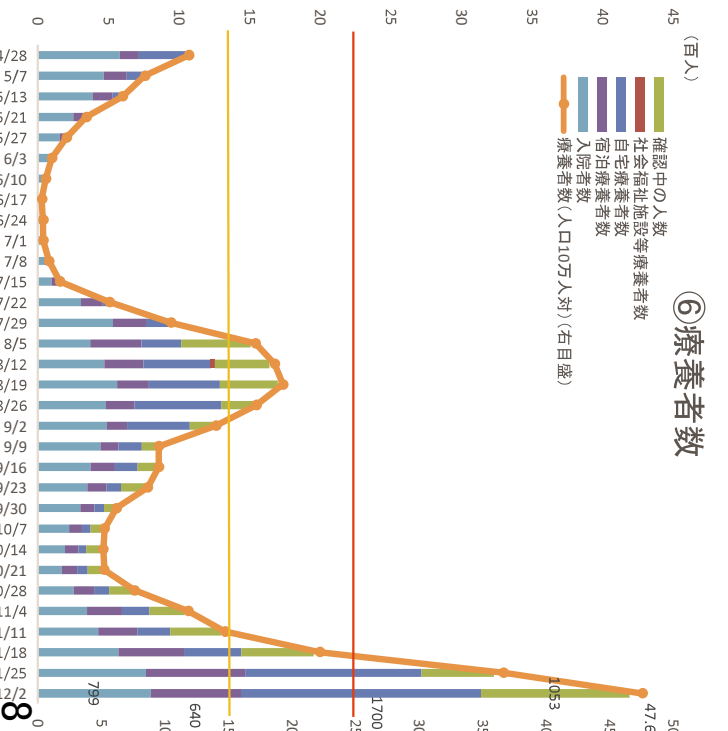
④入院者数／重症者数



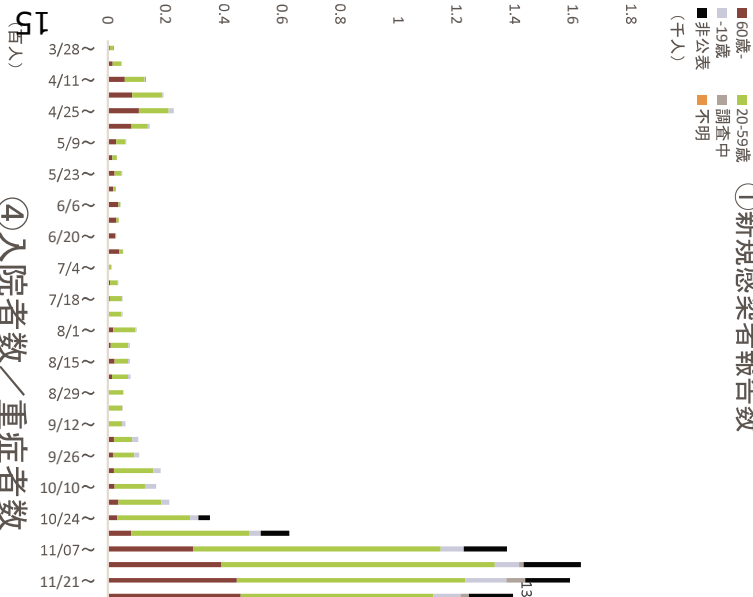
⑤病床占有率



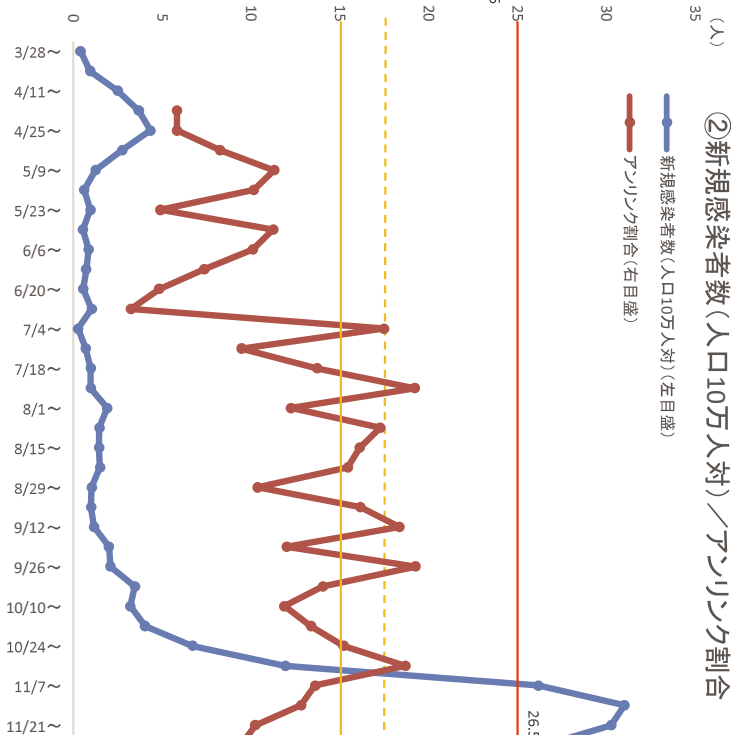
⑥療養者数



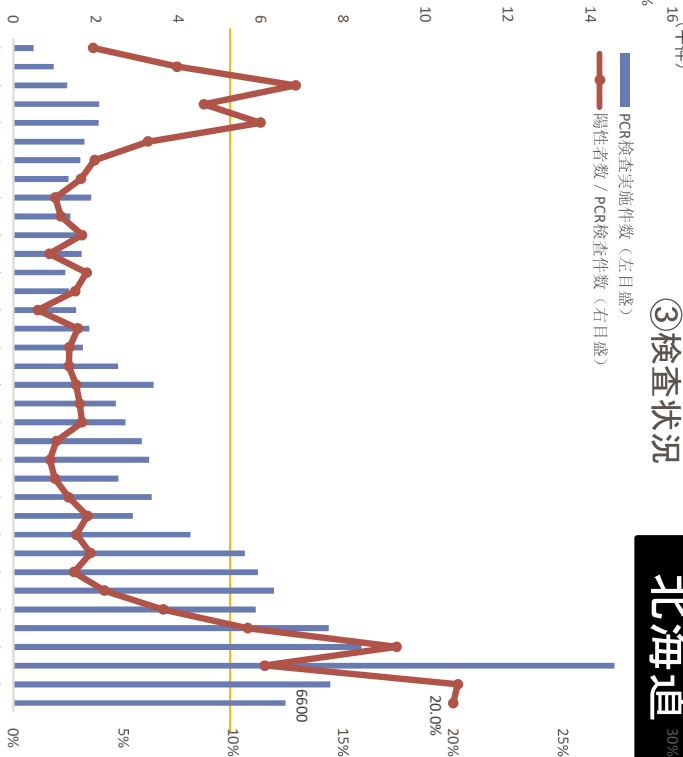
①新規感染者報告数



②新規感染者数(人口10万人対)／アンリンク割合



③検査状況



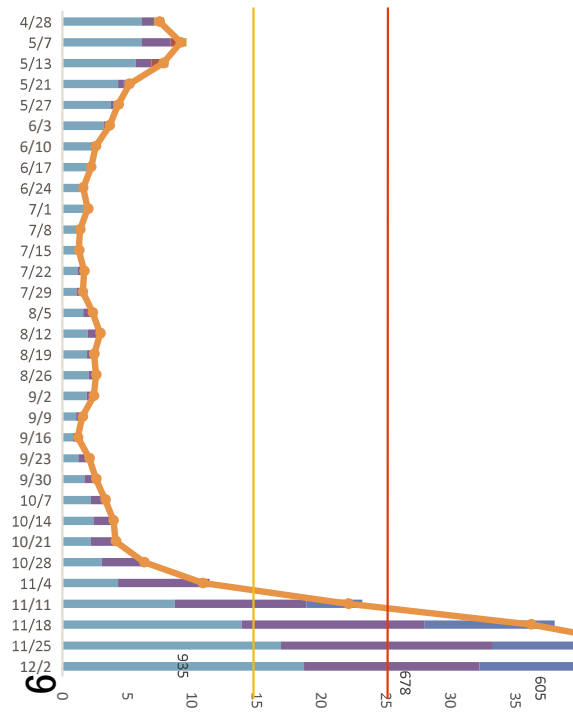
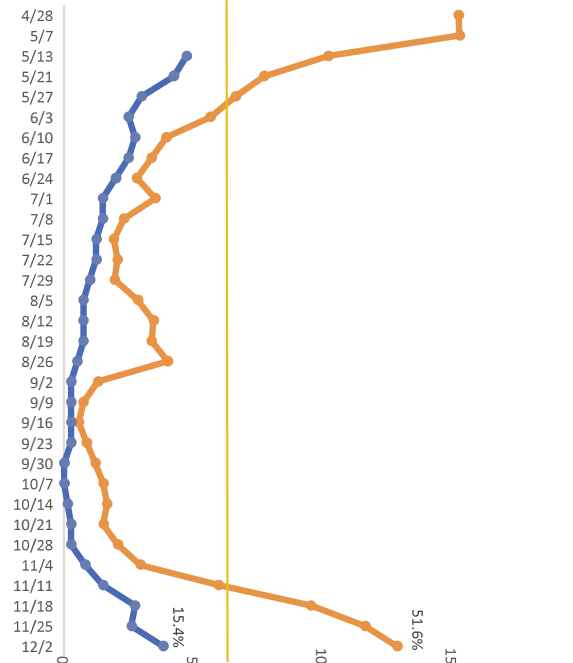
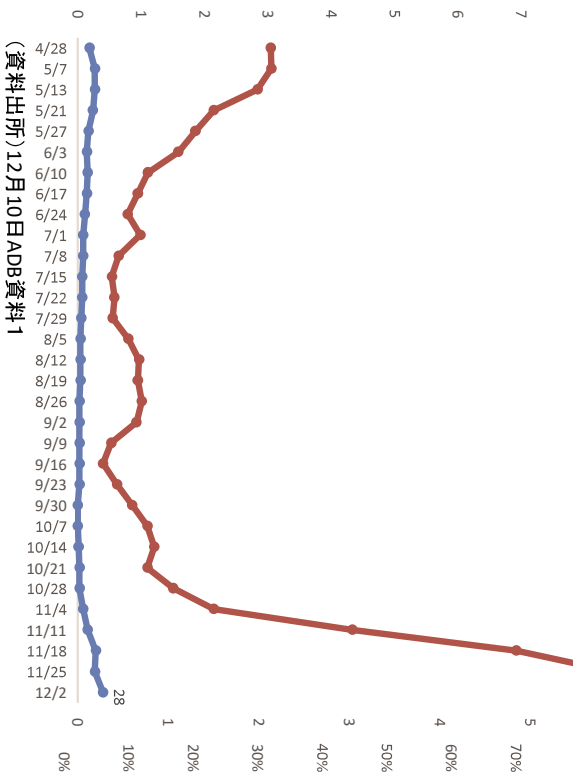
④入院者数／重症者数



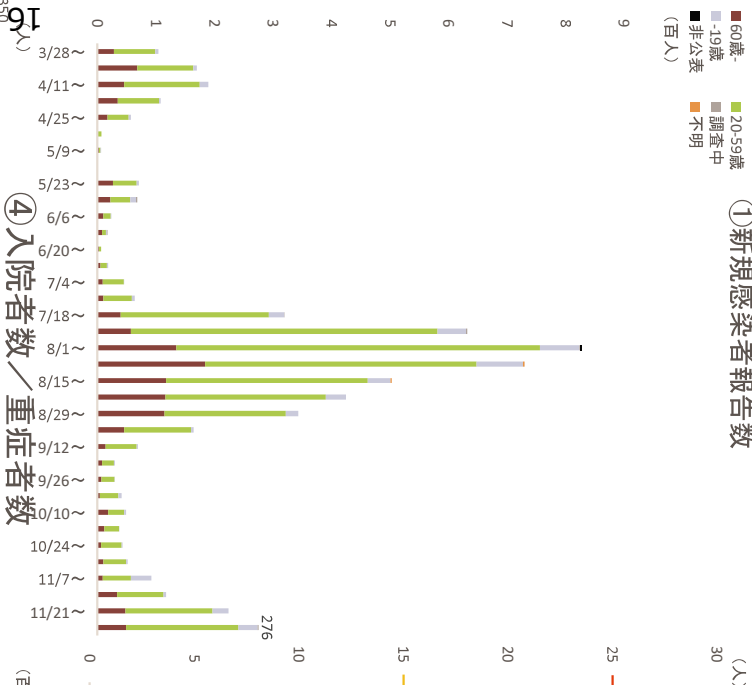
⑤病床占有率



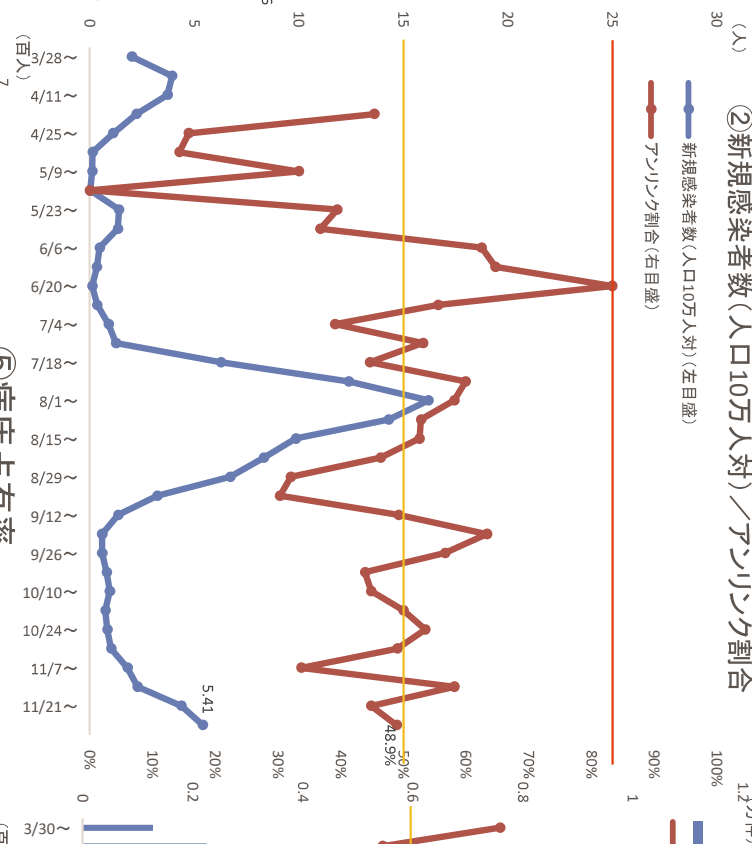
⑥療養者数



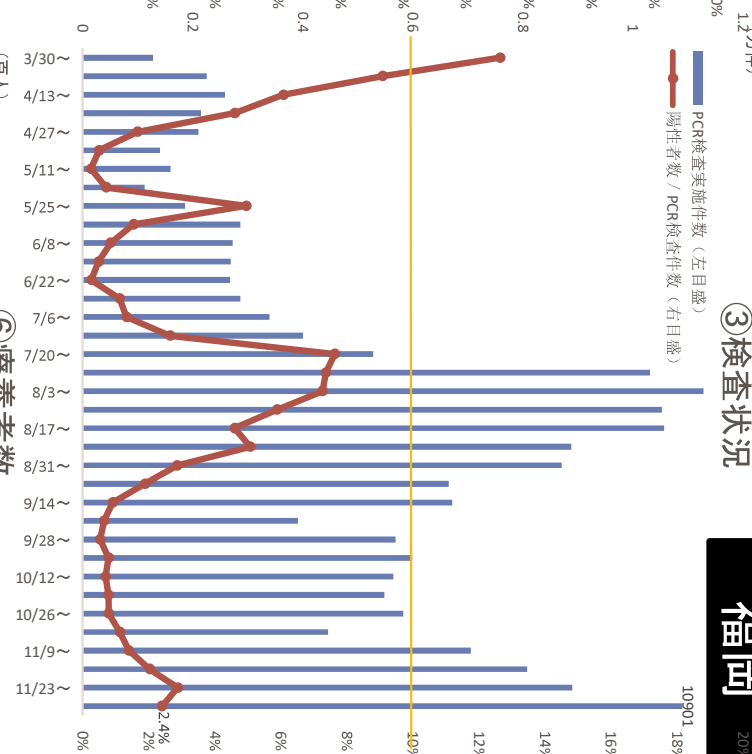
①新規感染者報告数



②新規感染者数(人口10万人対)／アンリンク割合



③検査状況



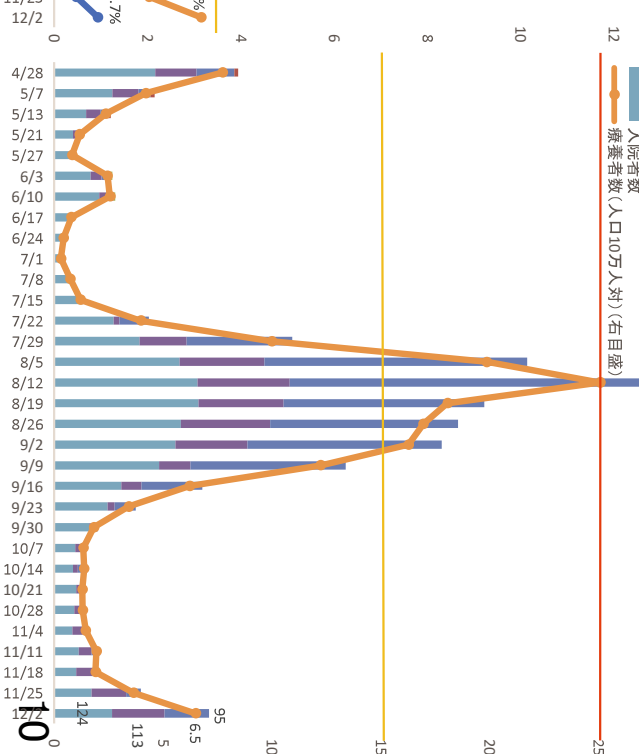
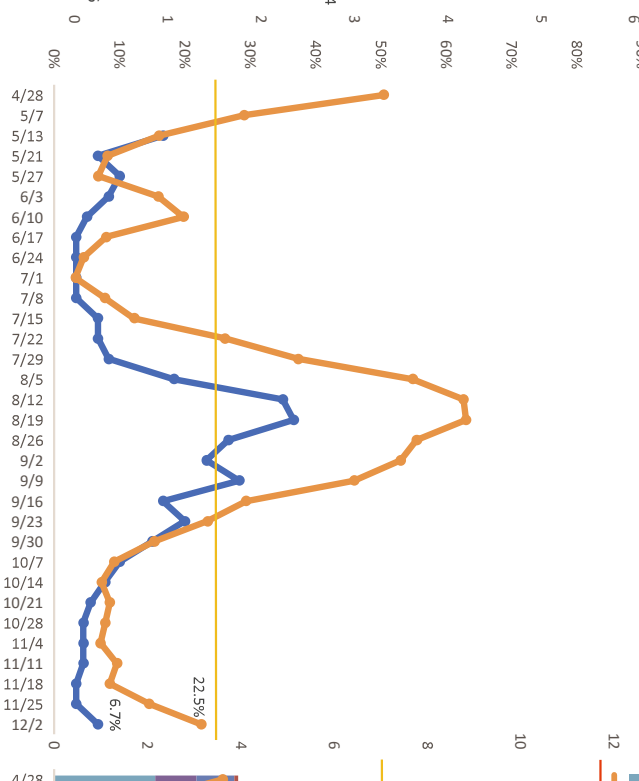
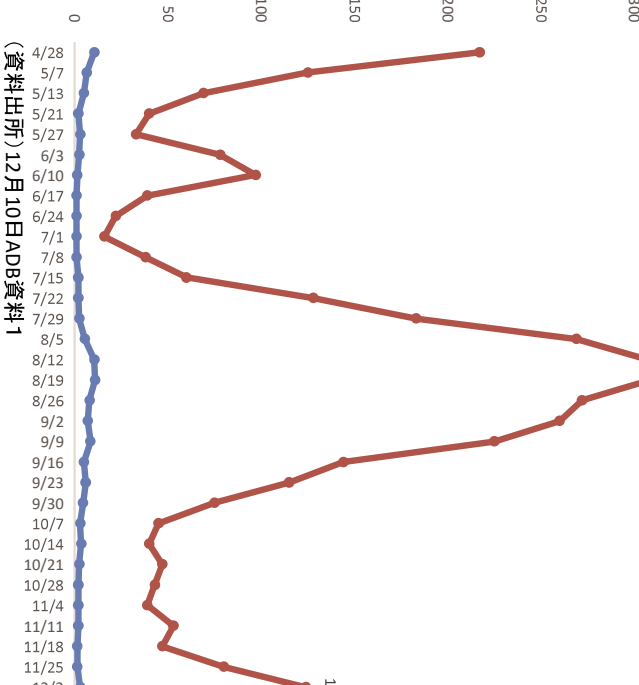
④入院者数／重症者数



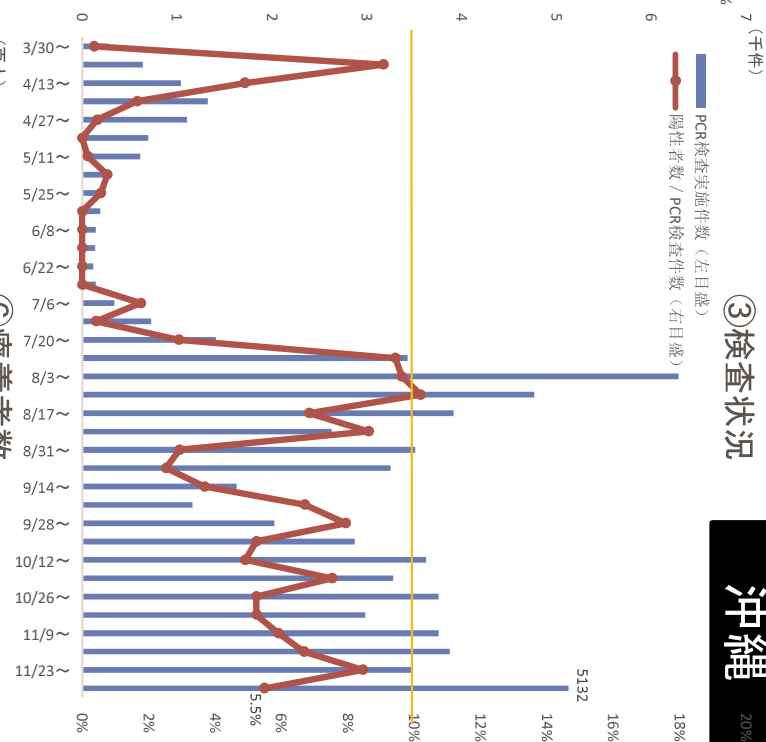
⑤病床占有率



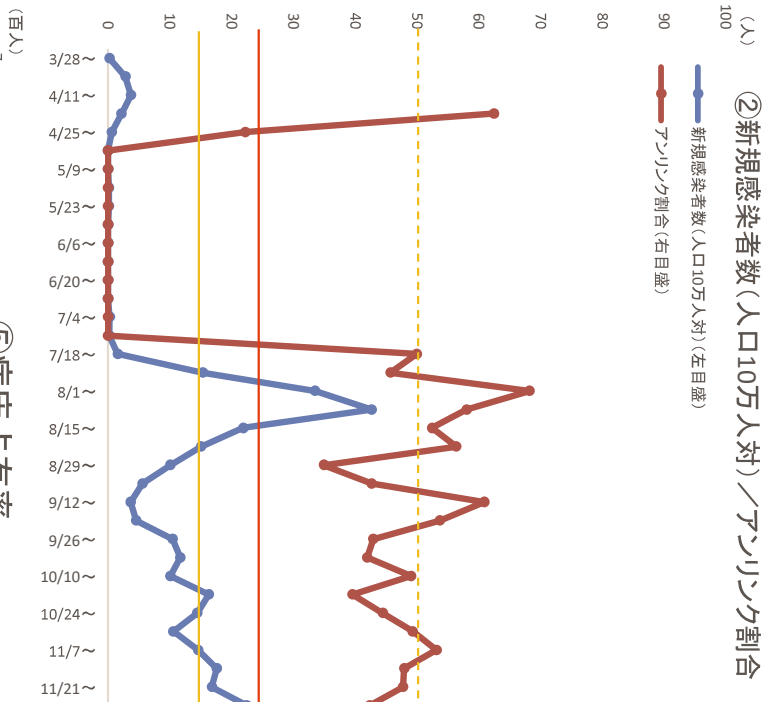
⑥療養者数



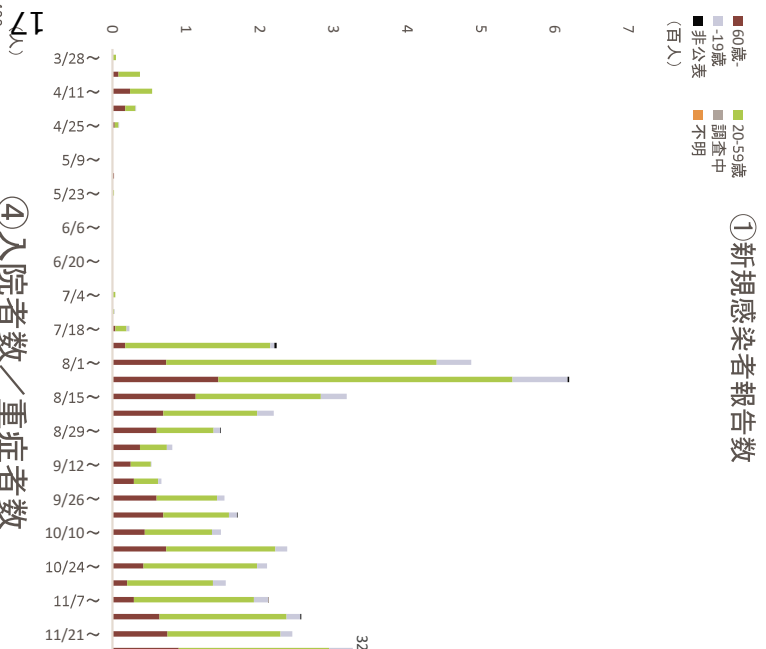
③検査状況



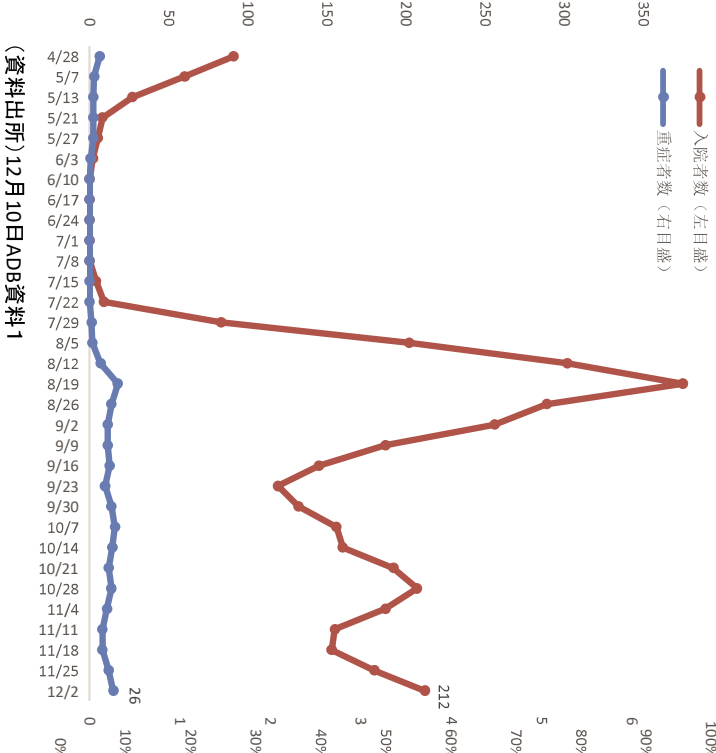
②新規感染者数(人口10万人対)／アソシエーション割合



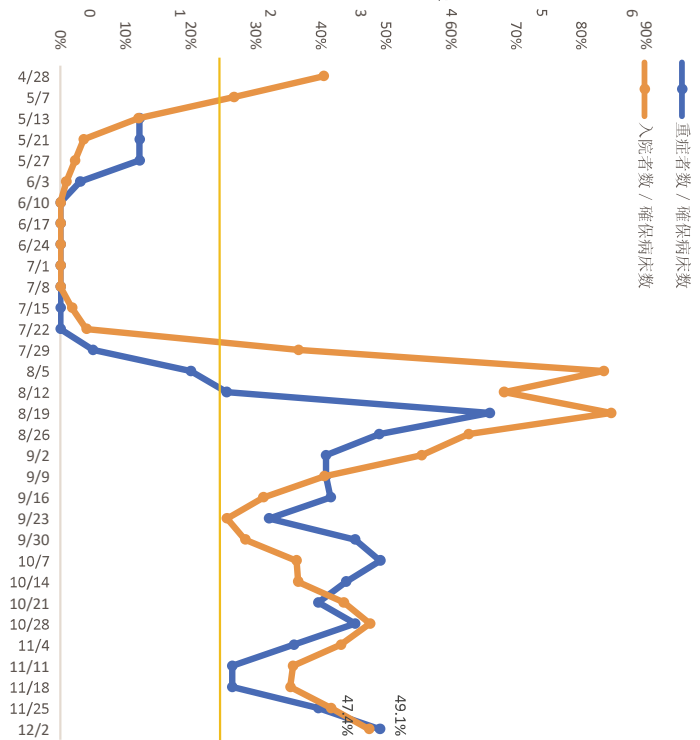
①新規感染者報告数



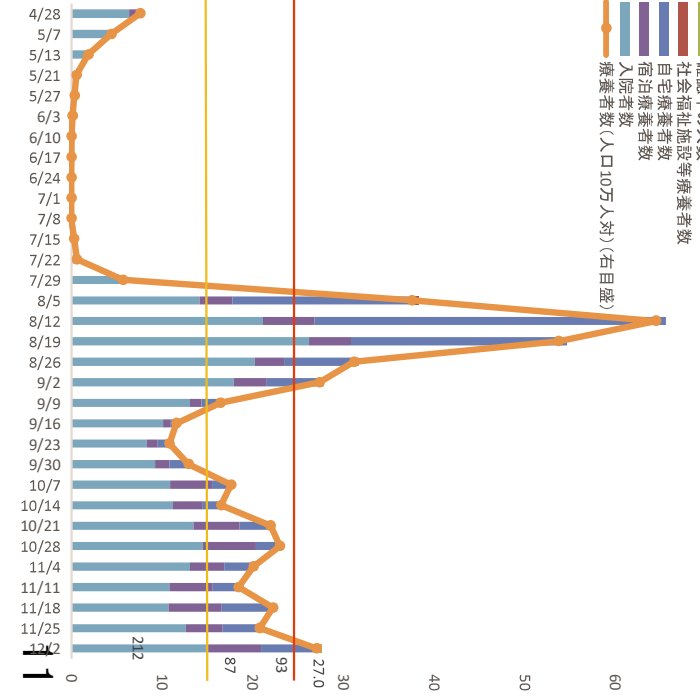
④入院者数／重症者数



⑤病床占有率



⑥療養者数



（参考）都道府県の医療提供体制等の状況①（医療提供体制）

【 医療提供体制 】										
A		B		C		D		E		F
	人口	①病床のひっ迫具合								②療養者数
		全入院者				重症患者				
		確保病床使用率		確保想定 病床使用率		確保病床 使用率 【重症患者】		確保想定 病床使用率 【重症患者】		
時点	2019.10	12/8		12/8		12/8		12/8		12/8
単位	千人	% (前週差)		% (前週差)		% (前週差)		% (前週差)		対人口10万人 (前週差)
ステージⅢの指標		25%		20%		25%		20%		15
ステージⅣの指標				50%				50%		25
北海道	5,250	55.1%	(+3.5)	55.1%	(+3.5)	14.3%	(▲1.1)	14.3%	(▲1.1)	42.8 (▲0.6)
青森県	1,246	15.2%	(+4.3)	14.2%	(+4.4)	6.5%	(+0.0)	6.5%	(+0.0)	4.3 (+2.2)
岩手県	1,227	14.2%	(▲4.8)	14.2%	(▲4.8)	6.8%	(+3.4)	6.8%	(+3.4)	4.5 (▲2.0)
宮城県	2,306	18.3%	(+4.6)	14.0%	(+3.6)	7.0%	(▲4.7)	4.6%	(▲3.1)	6.6 (+0.7)
秋田県	966	0.5%	(▲1.4)	0.4%	(▲1.3)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.2 (▲1.0)
山形県	1,078	25.9%	(+11.6)	25.9%	(+11.6)	3.8%	(+0.0)	3.8%	(+0.0)	5.3 (+2.4)
福島県	1,846	13.3%	(+3.2)	13.3%	(+3.2)	11.9%	(+0.0)	10.0%	(+0.0)	3.5 (+0.9)
茨城県	2,860	32.7%	(+2.7)	32.7%	(+2.7)	24.3%	(+8.6)	24.3%	(+8.6)	13.0 (+0.6)
栃木県	1,934	46.0%	(+6.7)	46.0%	(+6.7)	24.4%	(+7.3)	24.4%	(+7.3)	8.8 (+1.6)
群馬県	1,942	49.3%	(+6.3)	49.3%	(+6.3)	9.9%	(+8.5)	9.9%	(+8.5)	12.7 (+2.5)
埼玉県	7,350	54.3%	(+5.5)	46.9%	(+4.8)	20.3%	(▲3.9)	13.0%	(▲2.5)	21.7 (+5.4)
千葉県	6,259	28.9%	(▲0.3)	27.7%	(▲0.3)	14.9%	(+5.0)	8.3%	(+2.8)	12.5 (▲1.5)
東京都	13,921	46.3%	(+3.8)	46.3%	(+3.8)	55.0%	(+5.8)	55.0%	(+5.8)	31.8 (+3.5)
神奈川県	9,198	22.5%	(▲0.8)	22.5%	(▲0.8)	32.5%	(+2.5)	32.5%	(+2.5)	12.2 (▲2.6)
新潟県	2,223	15.6%	(▲2.6)	15.6%	(▲2.6)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	3.6 (▲0.6)
富山県	1,044	1.2%	(▲2.2)	1.2%	(▲2.2)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.6 (▲1.1)
石川県	1,138	11.6%	(+3.1)	11.6%	(+3.1)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	2.7 (+0.6)
福井県	768	7.9%	(▲2.3)	7.9%	(▲2.3)	8.3%	(+8.3)	8.3%	(+8.3)	2.2 (▲0.7)
山梨県	811	27.0%	(+9.8)	27.0%	(+9.8)	0.0%	(▲8.3)	0.0%	(▲8.3)	11.2 (+5.1)
長野県	2,049	33.7%	(+5.4)	33.7%	(+5.4)	8.3%	(+8.3)	8.3%	(+8.3)	7.9 (+1.9)
岐阜県	1,987	39.5%	(+7.5)	39.5%	(+7.5)	2.0%	(+0.0)	2.0%	(+0.0)	14.3 (+3.5)
静岡県	3,644	34.7%	(▲6.6)	34.7%	(▲6.6)	17.8%	(+6.8)	17.8%	(+6.8)	16.9 (+2.4)
愛知県	7,552	45.3%	(+2.7)	45.3%	(+2.7)	40.0%	(▲2.9)	23.1%	(▲1.7)	25.8 (+2.9)
三重県	1,781	47.9%	(▲2.3)	47.9%	(▲2.3)	11.3%	(+1.9)	11.3%	(+1.9)	10.0 (▲0.6)
滋賀県	1,414	11.7%	(▲2.6)	11.1%	(▲2.4)	8.9%	(+4.4)	5.6%	(+2.8)	4.4 (▲1.1)
京都府	2,583	21.0%	(+0.9)	19.1%	(+1.6)	18.6%	(+2.3)	18.6%	(+2.3)	12.6 (+3.7)
大阪府	8,809	55.6%	(▲0.2)	49.3%	(▲0.2)	57.9%	(+0.8)	57.9%	(+0.8)	47.8 (+0.2)
兵庫県	5,466	68.9%	(+3.9)	68.9%	(+3.9)	37.3%	(+6.4)	34.2%	(+5.8)	14.8 (+1.9)
奈良県	1,330	40.0%	(+5.8)	37.4%	(+5.4)	22.2%	(+0.0)	22.2%	(+0.0)	18.7 (+3.4)
和歌山県	925	17.8%	(▲3.3)	17.8%	(▲3.3)	2.5%	(+0.0)	2.5%	(+0.0)	7.7 (▲1.4)
鳥取県	556	2.6%	(+0.6)	2.6%	(+0.6)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	1.4 (+0.4)
島根県	674	4.3%	(+2.0)	4.3%	(+2.0)	0.0%	(▲4.0)	0.0%	(▲4.0)	1.6 (+0.7)
岡山県	1,890	27.5%	(▲2.0)	27.5%	(▲2.0)	0.0%	(▲13.5)	0.0%	(▲12.5)	6.1 (▲1.3)
広島県	2,804	33.6%	(+17.2)	33.6%	(+17.2)	8.3%	(+1.4)	8.3%	(+1.4)	12.5 (+8.3)
山口県	1,358	12.1%	(▲1.9)	12.1%	(▲1.9)	2.2%	(+0.0)	2.2%	(+0.0)	3.9 (▲0.6)
徳島県	728	3.0%	(+0.0)	3.0%	(+0.0)	4.0%	(+0.0)	4.0%	(+0.0)	0.8 (+0.0)
香川県	956	15.6%	(+5.0)	15.6%	(+5.0)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	5.8 (+3.5)
愛媛県	1,339	22.3%	(▲5.7)	22.3%	(▲5.7)	6.1%	(▲12.1)	6.1%	(▲12.1)	5.8 (▲4.8)
高知県	698	53.5%	(+44.5)	53.5%	(+44.5)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	17.3 (+14.8)
福岡県	5,104	25.0%	(+2.5)	18.2%	(+1.8)	10.0%	(+3.3)	8.2%	(+2.7)	8.4 (+1.9)
佐賀県	815	10.9%	(+1.8)	10.9%	(+1.8)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	5.3 (+2.0)
長崎県	1,327	1.8%	(▲0.8)	1.8%	(▲0.8)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	0.8 (▲0.6)
熊本県	1,748	19.0%	(+2.5)	19.0%	(+2.5)	11.9%	(▲1.7)	11.9%	(▲1.7)	6.6 (+1.4)
大分県	1,135	24.0%	(+7.1)	24.0%	(+7.1)	4.9%	(+2.4)	4.9%	(+2.4)	12.7 (+4.1)
宮崎県	1,073	17.1%	(+3.3)	17.1%	(+3.3)	3.0%	(▲3.0)	3.0%	(▲3.0)	8.9 (▲0.2)
鹿児島県	1,602	13.2%	(+7.6)	13.2%	(+7.6)	0.0%	(+0.0)	0.0%	(+0.0)	5.0 (+2.7)
沖縄県	1,453	46.8%	(▲0.7)	46.8%	(▲0.7)	39.6%	(▲9.4)	39.6%	(▲9.4)	25.5 (▲1.5)
全国	126,167	33.7%	(+2.6)	32.7%	(+2.6)	23.6%	(+1.6)	21.7%	(+1.5)	17.9 (+1.4)

※：人口推計 第4表 都道府県、男女別人口及び人口性比―総人口、日本人人口（2019年10月1日現在）

※：確保病床使用率、確保想定病床使用率、療養者数は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」による。

確保想定病床使用率は、同調査における「最終フェーズにおける即応病床（計画）数」を用いて計算している。同調査では、記載日の翌日 00:00時点としてとらえている。

※：重症者数は、集中治療室（ICU）等での管理、人工呼吸器管理又は体外式心臓補助（ECMO）による管理が必要な患者数。

※：東京都、滋賀県、京都府、福岡県及び沖縄県の重症者数については、これまで都府県独自の基準に則って報告された数値を掲載していたが、8/21公表分からは、国の基準に則って、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者も含めた数値が報告されている。

※：確保病床数が確保想定病床数を超える場合には、確保想定病床数は確保病床数と同数として計算している。

(参考) 都道府県の医療提供体制等の状況② (監視体制・感染の状況)

【監視体制】						【感染の状況】					
A		G		H		I		J			
人口		③陽性者数／PCR検査件数 (最近1週間)		④直近1週間の陽性者数		⑤直近1週間 とその前1週間の比		⑥感染経路 不明な者の割合			
時点		2019.10		~12/6(1W)		~12/10(1W)		~12/4(1W)			
単位		千人		対人口10万人 (前週差)		(前週差)		(前週差)			
ステージⅢの指標		10%		15		1		50%			
ステージⅣの指標		10%		25		1		50%			
北海道	5,250	8.8%	(▲11.5)	25.68	(▲1.7)	0.94	(+0.07)	27.0%	(▲2.3)		
青森県	1,246	3.1%	(+1.9)	3.45	(+1.0)	1.43	(▲4.57)	17.1%	(▲25.7)		
岩手県	1,227	1.6%	(▲0.4)	1.47	(▲1.5)	0.49	(+0.01)	17.6%	(+10.2)		
宮城県	2,306	4.9%	(▲0.1)	7.20	(+3.6)	1.98	(+1.19)	43.2%	(+19.9)		
秋田県	966	0.0%	(▲3.4)	0.00	(▲0.6)	0.00	(▲0.60)	0.0%	(▲13.3)		
山形県	1,078	2.7%	(▲1.1)	5.75	(+2.2)	1.63	(▲4.70)	13.9%	(▲26.1)		
福島県	1,846	1.5%	(+0.4)	3.03	(+1.8)	2.43	(+1.61)	34.4%	(+2.6)		
茨城県	2,860	3.4%	(▲0.7)	7.66	(▲2.7)	0.74	(▲0.25)	32.1%	(▲4.3)		
栃木県	1,934	3.7%	(+1.2)	6.20	(+0.9)	1.17	(▲0.64)	31.0%	(▲19.8)		
群馬県	1,942	6.4%	(▲1.3)	11.02	(+1.0)	1.10	(▲0.49)	38.9%	(▲6.6)		
埼玉県	7,350	5.0%	(▲0.0)	14.82	(+3.5)	1.31	(+0.24)	42.5%	(▲0.9)		
千葉県	6,259	5.0%	(▲1.6)	9.67	(+0.2)	1.02	(▲0.10)	45.3%	(▲2.5)		
東京都	13,921	5.4%	(▲0.4)	22.88	(▲0.6)	0.98	(▲0.18)	54.1%	(▲5.1)		
神奈川県	9,198	5.1%	(+0.4)	12.94	(▲0.5)	0.96	(▲0.15)	47.8%	(▲5.5)		
新潟県	2,223	1.8%	(▲1.6)	1.17	(+0.1)	1.13	(+0.68)	11.5%	(+0.0)		
富山県	1,044	0.4%	(▲1.0)	0.10	(▲1.0)	0.09	(▲0.64)	25.0%	(▲37.5)		
石川県	1,138	1.4%	(+0.2)	2.28	(+0.6)	1.37	(▲0.21)	65.0%	(+3.5)		
福井県	768	0.8%	(▲0.7)	1.43	(+0.0)	1.00	(+0.21)	0.0%	(+0.0)		
山梨県	811	4.5%	(+3.4)	7.27	(+1.7)	1.31	(+0.19)	35.2%	(▲8.9)		
長野県	2,049	4.8%	(+0.4)	6.44	(+1.3)	1.25	(+0.27)	21.9%	(▲5.1)		
岐阜県	1,987	6.0%	(▲0.8)	11.07	(+2.2)	1.25	(▲0.35)	27.1%	(▲16.8)		
静岡県	3,644	4.7%	(▲1.8)	6.56	(▲4.7)	0.58	(▲0.55)	44.8%	(+16.3)		
愛知県	7,552	9.8%	(▲0.5)	18.55	(+1.0)	1.06	(▲0.11)	49.8%	(▲0.9)		
三重県	1,781	9.6%	(+3.0)	5.95	(▲1.0)	0.86	(▲0.20)	20.0%	(+4.1)		
滋賀県	1,414	3.9%	(+0.3)	3.04	(▲0.1)	0.98	(+0.13)	42.9%	(+8.9)		
京都府	2,583	4.4%	(+0.2)	13.16	(+7.3)	2.25	(+1.39)	45.5%	(+7.0)		
大阪府	8,809	9.3%	(▲0.9)	27.60	(▲2.1)	0.93	(▲0.16)	58.8%	(▲6.5)		
兵庫県	5,466	10.2%	(+1.4)	17.54	(+2.4)	1.16	(+0.19)	56.5%	(+5.5)		
奈良県	1,330	6.7%	(+0.8)	12.93	(+0.5)	1.04	(▲0.27)	45.2%	(▲2.2)		
和歌山県	925	4.1%	(+0.2)	6.49	(▲0.4)	0.94	(▲0.27)	16.0%	(+2.2)		
鳥取県	556	0.9%	(▲0.5)	1.08	(+0.5)	2.00	(+1.40)	66.7%	(+46.7)		
島根県	674	3.6%	(+2.3)	1.04	(▲0.1)	0.88	(▲3.13)	14.3%	(▲35.7)		
岡山県	1,890	1.8%	(▲1.0)	3.86	(▲0.6)	0.86	(+0.00)	52.3%	(+17.2)		
広島県	2,804	4.8%	(+1.3)	13.52	(+7.9)	2.40	(▲0.19)	34.0%	(▲27.1)		
山口県	1,358	1.8%	(▲0.6)	1.84	(▲0.7)	0.71	(+0.18)	14.3%	(▲8.2)		
徳島県	728	1.3%	(+0.4)	0.69	(+0.4)	2.50	(+2.10)	0.0%	(▲33.3)		
香川県	956	1.8%	(+0.5)	4.50	(+2.4)	2.15	(▲0.35)	52.4%	(▲14.3)		
愛媛県	1,339	4.1%	(▲6.5)	1.64	(▲2.1)	0.44	(+0.06)	18.9%	(+7.2)		
高知県	698	12.5%	(+10.0)	17.34	(+12.9)	3.90	(▲2.30)	46.8%	(+6.8)		
福岡県	5,104	2.4%	(▲0.5)	8.05	(+2.4)	1.42	(▲0.02)	48.9%	(+4.0)		
佐賀県	815	5.0%	(+2.6)	4.66	(+1.1)	1.31	(▲1.59)	6.1%	(▲3.9)		
長崎県	1,327	0.3%	(▲0.5)	1.28	(+0.7)	2.13	(+1.40)	75.0%	(+8.3)		
熊本県	1,748	3.9%	(+0.8)	6.29	(+2.6)	1.69	(+0.42)	45.8%	(+10.3)		
大分県	1,135	7.9%	(+2.6)	10.75	(+2.3)	1.27	(▲0.65)	38.1%	(+4.1)		
宮崎県	1,073	5.7%	(▲1.5)	4.75	(▲1.8)	0.73	(▲0.29)	14.8%	(+3.3)		
鹿児島県	1,602	3.0%	(▲0.2)	7.68	(+5.4)	3.42	(+2.08)	31.3%	(▲17.0)		
沖縄県	1,453	5.5%	(▲3.0)	17.62	(▲4.2)	0.81	(▲0.48)	42.4%	(▲5.4)		
全国	126,167	5.8%	(▲0.6)	12.96	(+0.6)	1.05	(▲0.04)	46.8%	(▲2.1)		

※：人口推計 第4表 都道府県、男女別人口及び人口性比―総人口、日本人人口（2019年10月1日現在）

※：陽性者数は、感染症法に基づき陽性者数の集積（各都道府県の発表日ベース）を記載。自治体に確認を得ていない暫定値であることを留意。

※：PCR検査件数は、厚生労働省において把握した、地方衛生研究所・保健所、民間検査会社、大学等及び医療機関における検査件数の合計値。

※：各数値は、資料掲載時点において把握している最新の値としている。掲載時以降に数値が更新されることにより、前週差が前週公表の値との差と一致しない場合がある。

※：⑤と⑥について、分母が0の場合は、「―」と記載している。

岐阜県の医療提供体制等の状況

厚生労働省 12月11日公表分

【 医療提供体制 】 【監視体制】 【 感染の状況 】									
	A	B			C			D	
		人口			①病床のひっ迫具合			E	
		確保病床 使用率	確保病床 使用率	確保病床 使用率	確保病床 使用率 【重症患者】	確保病床 使用率 【重症患者】	確保病床 使用率 【重症患者】	F	
時点	2019.10	12/8	12/8	12/8	12/8	12/8	12/8	G	
単位	千人	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	H	
ステージⅢの指標	25%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	I	
ステージⅣの指標	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	J	
岐阜県	1,987	39.5% (+7.5)	39.5% (+7.5)	39.5% (+7.5)	2.0% (+0.0)	2.0% (+0.0)	2.0% (+0.0)	11.07 (+2.2)	
								1.25 (▲0.35)	
								27.1% (▲16.8)	

今後の感染の状況を踏まえた対応についての
分科会から政府への提言
令和2年12月11日（金）

新型コロナウイルス感染症対策分科会

【Ⅰ】はじめに

これまでの分科会からの提言を踏まえ、特にステージⅢ相当の対策が必要となる地域においては、短期間に現在の感染拡大を沈静化させるために、強い対策が行われている。

そうした対策によって感染拡大が沈静化に向かうか否か等、対策の効果の見通しは、各都道府県におけるこの強い対策の期日である12月中旬頃を目途に分析・判断する必要がある。したがって、現時点においては、今後、どのような施策を考えればよいのかの参考にして頂く目的で、「想定されるシナリオ（状況）」を示した上で、「各状況において行うべき取組」を示すこととする。

そこで、分科会としては、まず現状の認識を示した上で、シナリオに関わらず共通して実施すべき施策とともに、各シナリオで行うべき施策の方向性について、以下のとおり、政府に提言させて頂きたい。

【Ⅱ】現状の認識

これまで、ステージⅢ相当の対策が必要な地域では、医療提供体制及び公衆衛生体制への負荷が増大・継続してきた。加えて、重症者数の増加はしばらく続き、年末年始の医療提供体制に重大な影響が生じるおそれがある。

既に一部の地域では、医療提供体制の面では、病床や人員の増加が見込まない中で、新型コロナウイルス感染症の診療と通常の医療との両立が困難になり始めている。また、都市部を中心とした保健所では、保健所の負担が増加してきた結果、感染防止のために感染源を特定するいわゆる「後ろ向きクラスター調査」を行う余裕がなくなっている。

こうしたことから、第17回新型コロナウイルス感染症対策分科会の提言（令和2年11月25日）を踏まえ、現在、いくつかの地域では、酒類を提供する飲食店等への営業時間短縮要請、Go To関連事業の見直し、人々に対する外出自粛要請等の措置が、短期間に集中して12月中旬頃までの予定で実施されている。

一方、多くの人々は行動自粛に協力して頂いている中、これ以上の行動自粛要請に対し、いわば辟易している。また、事業者においても、長く続く対策の影響などにより、経済的な打撃を受けているため、対策の早期の緩和を望む声がある。

【Ⅲ】シナリオに関わらず共通して実施すべき施策

シナリオに関わらず、以下の施策については、十分に実施して頂きたい。

(1) マスクの着用（飲食時含む）や「感染リスクが高まる「5つの場面」」等に係る情報発信

(2) 飲食店をはじめとした業種別ガイドラインの徹底

- アクリル板の設置、CO₂濃度センサーを活用した換気の徹底、飲食時のマスク着用等

(3) 保健所の負荷も勘案した効率的な感染対策の実施

- 地域の感染状況も踏まえ重症化リスクがある人々に重点的に積極的疫学調査を実施すること
- 陽性者と接触した自覚のない接触者を効率的かつ速やかに発見するためのCOCOAの積極的な活用に向けた情報発信

(4) 財政的支援を含め、医療提供体制及び保健所の強化を進めていくこと

(5) 高齢者施設・医療機関等における積極的な検査によるクラスターの早期の封じ込め

①地域での連携及び支援

- 感染が疑われた場合には事業者・地方公共団体・医療従事者で素早く情報共有し連携すること
- 地方公共団体による高齢者施設の訪問により対策の支援を進めること
- 以上の対応を国や都道府県が支援すること

【Ⅲ】シナリオに関わらず共通して実施すべき施策（続き）

②検査

- 高齢者施設等において利用者や従事者に発熱症状などがある場合には迅速に検査を行い、一例でも陽性者が発見された場合には施設内の検査を徹底すること
- クラスターが複数発生している地域では、クラスターが発生している施設と関係のある施設において、上記の条件に合致しなくても、積極的に検査を行うこと
- 院内感染時においても医療機能を維持・早期再開するため、濃厚接触者以外は検査を実施した場合であっても陰性であれば14日間の自宅待機の対象外であり、引き続き従事可能であることの徹底
- 感染者の入院期間については、症状軽快後72時間経過している場合は、発症日から10日経過した時点で検査をせずに退院可能であることの周知の徹底
- 濃厚接触者の健康観察の期間は、現在14日間となっているが、その期間を短縮できるか否かについて、科学的知見を踏まえ早急に検討すること

（6）感染症に強い社会の構築

- 今後このような感染の波が来ることを想定し、「感染症に強い社会」を構築すること
- また、事業者が長期的な視野で、「感染症に強いビジネスモデル」の構築に取り組むことができれば、政府としても後押しすること

【Ⅳ】各シナリオで想定される施策

3つのシナリオは、国、地方公共団体がこれからの対策を進める上で参考にして頂きたい。地方公共団体においては、今まで以上にリーダーシップを発揮して先手を打って頂きたい。国は、地方公共団体が迅速な意思決定を行えるよう、後押しをして頂きたい。

【シナリオ1】感染減少地域

このシナリオの対象地域は、ステージⅢ相当の対策が必要とされていた地域であるものの、「報告数の減少が見られる地域」である。この地域においても、感染の状況や医療提供体制への負荷等が、少なくともステージⅡ相当以下の水準まで引き下げることが必要である。

したがって、これまでの対策を中心に、一定の取組を継続することが必要と考えられる。

(1) 若年層等の心が届くメッセージの発信

- 感染しても無症状であることが多い若年層や中年層に届く効果的な情報発信を行うこと

(2) 営業時間短縮要請について

- 営業時間短縮要請などの社会経済的な影響が強い施策については、感染状況や医療提供体制の逼迫とその見通しも踏まえつつ、国と各地方公共団体が連携し、継続するか否かについて適切に判断すること

【シナリオ2】感染高止まり地域

このシナリオの対象地域は、ステージⅢ相当の対策が必要とされていた地域で、なおかつ、「報告数が高止まりしている地域」である。この地域で、感染高止まり状況がさらに継続すると、医療提供体制や公衆衛生体制に大きな支障が発生する。

感染高止まり状況にあることは、これまで実施してきた対策の実効が、感染拡大を沈静化させるまでには上がっていないことを示す。

したがって、現行の対策の延長だけでなく、対策の更なる強化を図ることが必要と考えられる。

(1) 延長・強化すべき対策

- 営業時間短縮要請を引き続き推進

(必要に応じエリアの拡大や時間短縮の20時への前倒し等を検討。)

- 強い警戒メッセージの発信
- テレワークや休暇の分散取得促進の更なる徹底
- イベント開催要件の厳格化（知事の判断）
- 感染予防を徹底できない場合における、感染が拡大している地域とそれ以外の地域との社会経済圏域を越えた往來の自粛要請の推進

※なお、Go To Travel事業及びGo To Eat事業についても、ステージⅢ相当の対策が必要な地域では一時停止。ステージⅡ相当と判断された場合には事業を再開。

【シナリオ2】感染高止まり地域（続き）

（2）医療機関や保健所の負荷への対応及び効率的な感染対策

- 軽症・無症状者の宿泊療養・自宅療養の促進
- 都道府県域を超えた受け入れ調整の促進
- 医療体制が逼迫している地域への医療スタッフの派遣（全国知事会と連携した医療スタッフの派遣、自衛隊等による医療スタッフの派遣※）
- 医療・介護従事者を支援するため医療機関等に対して更なる強力な財政支援等（インセンティブを強化するなど）を行うこと
- 特に重症者が多くなる地域に対して関連学会と連携した専門医派遣
- 自衛隊・海上保安庁等による離島等からの患者移送※
- 退院基準（症状軽快から72時間以上経過し、かつ発症から10日経過した場合等）を満たした患者の受け入れ先の確保支援
- 院内感染時においても医療機能を維持・早期再開するための濃厚接触者以外は検査を実施した場合であっても陰性であれば14日間の自宅待機の対象外であり、引き続き従事可能であることの徹底
- 自宅療養・宿泊療養者に対する健康観察におけるHER-SYS等の積極活用

※自衛隊の派遣については、都道府県知事からの要請に基づく災害派遣により実施。

【シナリオ3】感染拡大継続地域

このシナリオの対象地域は、ステージⅢ相当の対策が必要とされていた地域で、なおかつ、「報告数が継続して拡大している地域」である。その中には、感染がさらに拡大すれば、ステージⅣ相当の対策が必要になる地域も含まれる。

こうした地域では、深刻な医療提供体制の機能不全等を避けるため、人の動きや接触機会の更なる低減策を講じることが必要である。

緊急事態宣言を回避すべく、強い警戒メッセージを発出しつつ、対策の抜本的な強化を図ることが必要と考えられる。

(1) 強化すべき対策

- エリア拡大・時間短縮の前倒し等、営業時間短縮要請の強化
 - 強い警戒メッセージの発信
 - テレワーク目標を設定（例えば5割）し、その徹底を推進
 - イベント開催要件の厳格化（目安を国より通知）
 - 感染が拡大している地域とそれ以外の地域との県境を越えた移動の自粛要請
- ※なお、Go To Travel事業及びGo To Eat事業についてはシナリオ2と同様に一時停止。
- 当該地域内における不要不急の外出自粛要請

(2) 医療提供体制・保健所機能の更なる強化

※シナリオ2で示した医療提供体制・保健所機能の強化の更なる徹底。

忘年会・新年会・成人式等及び
帰省についての提言
令和2年12月11日（金）

新型コロナウイルス感染症対策分科会

【はじめに】

- ・ 我々の社会は新型コロナウイルス感染症が流行してから初めての冬を迎えることになります。
- ・ 年末年始は我々の社会にとって特別な時期です。特に、半年以上、つらい思いをされてきた多くの皆さんは、年末年始こそは、お酒を酌み交わし、親族や親しい友人たちと旧交を温めたいと考えていると思います。
- ・ しかし、年末年始に人々の交流を通じて感染が全国的に拡大すると、さらに医療が逼迫し、結果的に経済も大きな打撃を被ります。
- ・ 命と暮らしを守るためには、社会を構成する一人ひとりが年末年始を静かに過ごすことが求められます。
- ・ 年末年始を迎えるに当たり、分科会としては、以下の提言を行いたいと思います。政府においては、本提言のメッセージを国民の皆さんに分かりやすく伝えて頂きたいと思います。

〔Ⅱ〕分科会から政府への提言

1. 全国の皆さんへ

年末年始を静かに過ごすために、以下の工夫をお願いします。

（1）忘年会・新年会

忘年会・新年会で最も大切なことは、なるべく普段から一緒にいる人と少人数で開催することです。その上で、

- ・ガイドラインを遵守している飲食店を選ぶ。
 - ・体調が悪い人は参加しない。
 - ・座の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避ける）。
 - ・会話する時は必ずマスクを着用。
 - ・短時間で、深酒やはしご酒などは控え、適度な酒量で。
 - ・お猪口やコップは使い回わず、一人ひとりで。
- といった「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」をして頂くようお願いします。

〔Ⅱ〕分科会から政府への提言（続き）

（２）成人式

成人式は、多くの新成人が久しぶりに地元に集まる機会です。しかし、この機会は「三密」や「感染リスクが高まる５つの場面」（添付）が生じやすい機会でもあります。主催者や参加者には、次の点について注意喚起をお願いします。

①主催者の方へ

- ・参加人数の制限。
- ・会場での飲食を控えることの徹底。
- ・会場での感染防止策の徹底（マスクの着用、手指消毒など）。

②参加者の方へ

- ・体調が悪い人は参加しないこと。
- ・会場やその周囲では密集をしないこと。
- ・式典の前後には飲食を控えること。
- ・仮に飲食をする場合には上記の忘年会・新年会の工夫を参照。

〔Ⅱ〕分科会から政府への提言（続き）

（３）初詣・カウントダウンイベントなど

初詣については、混雑する時期を避けて頂くようお願いします。境内での三密や、参拝後の混雑をできる限り避けるなど、感染防止策の徹底をお願いします。

また、年末年始は、カウントダウンイベント等が数多く行われます。これらのイベントでは、基本的な感染防止策を徹底するとともに、適切な雑踏警備等を検討してください。適切な行動管理が難しいと判断する場合には開催自粛等の対応をお願いします。

（４）年末年始の帰省

年末年始に、多くの人が帰省をお考えになっているかと思いますが、帰省する場合には、三密回避を含め基本的な感染防止策を徹底するとともに、特に大人数の会食を控えるなど、高齢者等への感染につながらないよう注意をお願いします。

そうした対応が難しいと判断される場合は、帰省について慎重に検討頂きますようお願いします。特に発熱等の症状がある方などは、帰省を控えて下さい。

帰省される場合には、年末年始の休暇を分散して取得するなど、混雑する時期を避けて頂くようにお願いします。

〔Ⅱ〕分科会から政府への提言（続き）

2. ステージⅢ相当の対策が必要となる地域の皆さんへ

ステージⅢ相当の対策が必要となる地域では、さらに対策を徹底するため、全国の皆さんにお願いした前述の内容から一歩踏み込んだ工夫をお願いしたいと思います。

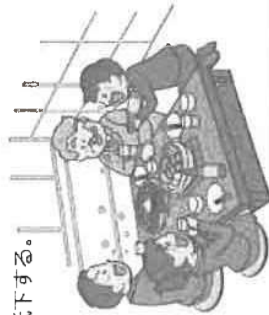
- ・特に大人数の「忘年会・新年会」は見送り、オンライン忘年会・新年会を検討すること。
- ・「成人式」及び「その他年末年始に想定されるイベント」は、主催者はオンラインを活用した形での開催や開催時期、時間の分散化等、在り方について慎重に検討すること。
- ・「年末年始の帰省」は、時期の分散のみならず、延期も含め慎重に検討すること。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面①

飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面②

大人数や長時間におよぶ飲食

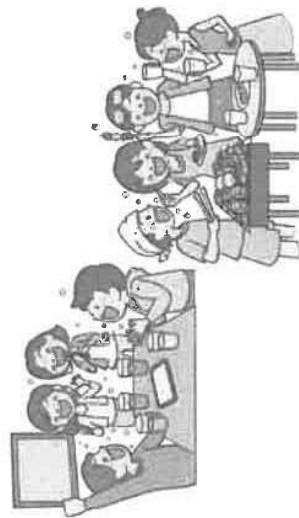
- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のほしご酒では、短時間の食事比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③

マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクログロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、居カオオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④

狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤

居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

<利用者>

- ・飲酒をするのであれば、①少人数・短時間で、
②なるべく普段一緒にいる人と、
③深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で。
- ・箸やコップは使い回わず、一人ひとりで。
- ・座の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避ける）。
（食事の際に、正面や真横に座った場合には感染したが、斜め向かいに座った場合には感染しなかった報告事例あり。）
- ・食べるときだけマスクを外し、会話の時はマスク着用。
（フェイスシールド・マウスシールド※¹はマスクに比べ効果が弱いことに留意が必要※²。）
※¹ フェイスシールドはもともとマスクと併用し眼からの飛沫感染防止のため、マウスシールドはこれまで一部産業界から使われてきたものである。
※² 新型コロナウイルス感染防止効果については、今後さらなるエビデンスの蓄積が必要。
- ・換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドライン★を遵守したお店で。
- ・体調が悪い人は参加しない。

<お店>

- ・お店はガイドライン★の遵守を。
（例えば、従業員の体調管理やマスク着用、席ごとのアクリル板の効果的な設置、換気と組み合わせた適切な扇風機の利用などの工夫も。）
- ・利用者に上記の留意事項の遵守や、
接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを働きかける。

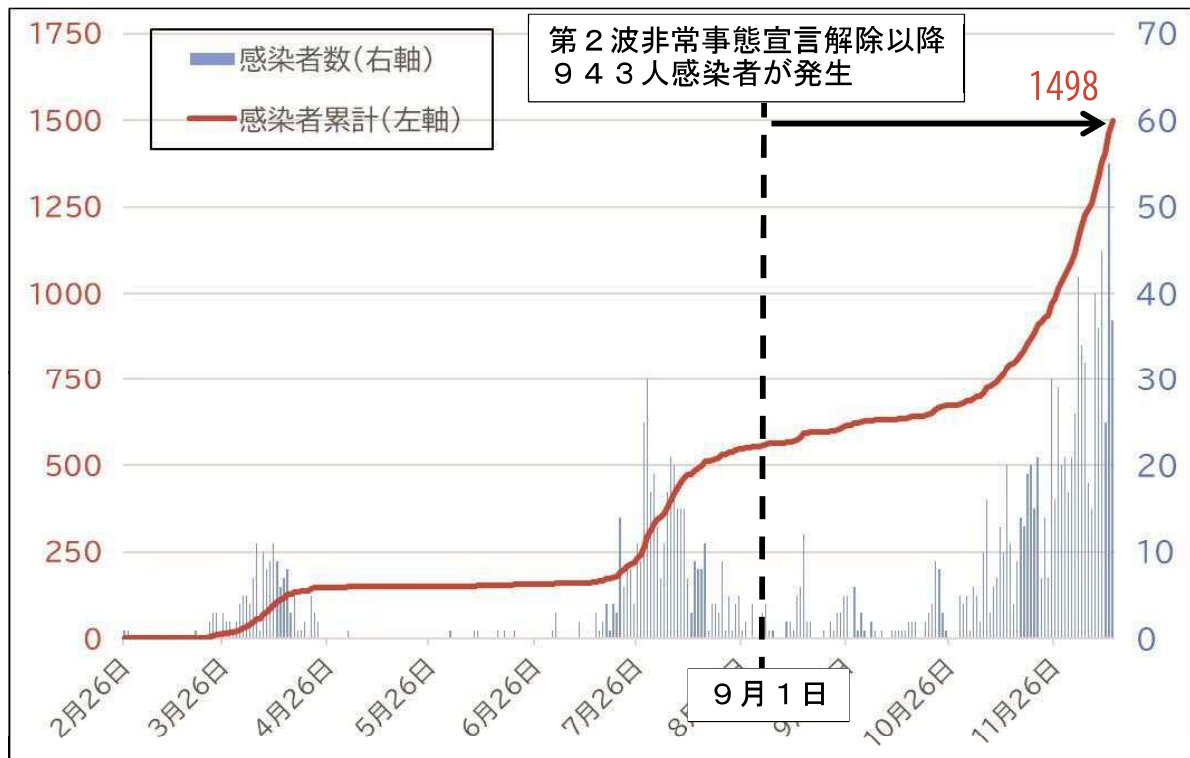
【飲酒の場面も含め、全ての場面でこれからも引き続き守ってほしいこと】

- ・基本はマスク着用や三密回避。室内では換気を良くして。
- ・集まりは、少人数・短時間にして。
- ・大声を出さず会話はできるだけ静かに。
- ・共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底を。

★従業員で感染者が出たある飲食店では、ガイドラインを遵守しており、窓を開けるなど換気もされ、客同士の間隔も一定開けられていたことから、利用客（100名超）からの感染者は出なかった。

県内の感染状況

12月13日時点



日付	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
感染者数	2	24	123	1	6	175	224	71	60	386
累計	2	26	149	150	156	331	555	626	686	1072

日付	12月												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
感染者数	21	26	42	34	32	18	15	40	36	45	25	55	37
累計	1093	1119	1161	1195	1227	1245	1260	1300	1336	1381	1406	1461	1498

感染者		1498
入院中（調整中含む）		279
うち重篤		0
宿泊療養施設		66
退院等		1133
死 亡		20

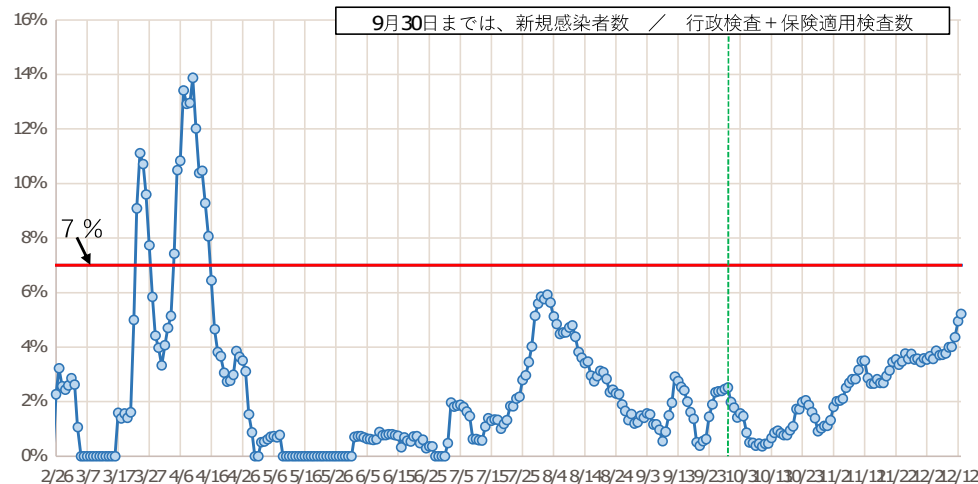
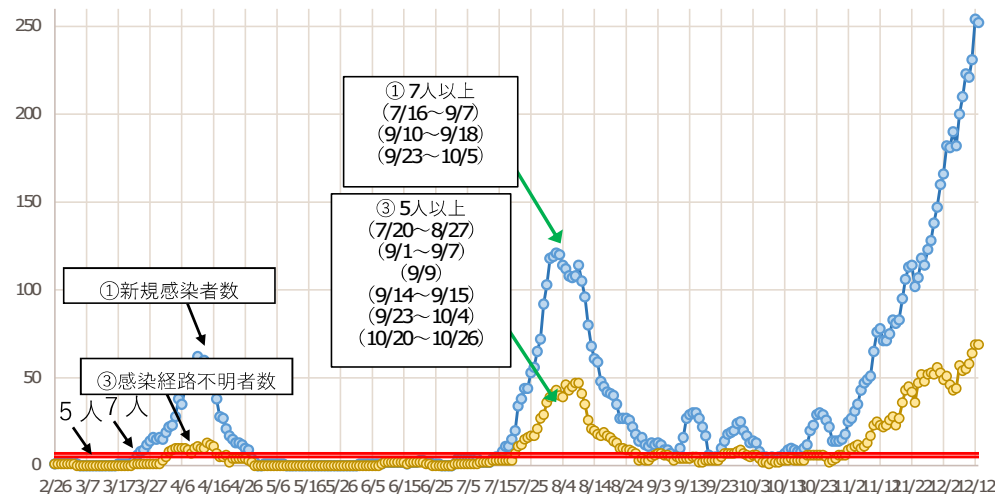
基準指標の状況（12月13日現在）

①新規感染者数	7人以上 (7日間移動合計)	252人	基準を上回る	10月13日から (62日間)
③感染経路不明者数	5人以上 (7日間移動合計)	69人	基準を上回る	10月30日から (45日間)

②検査陽性率 (速報値)	7%以上 (7日間移動平均)	5.2%	基準を下回る	4月16日から (242日間)
-----------------	-------------------	------	--------	--------------------

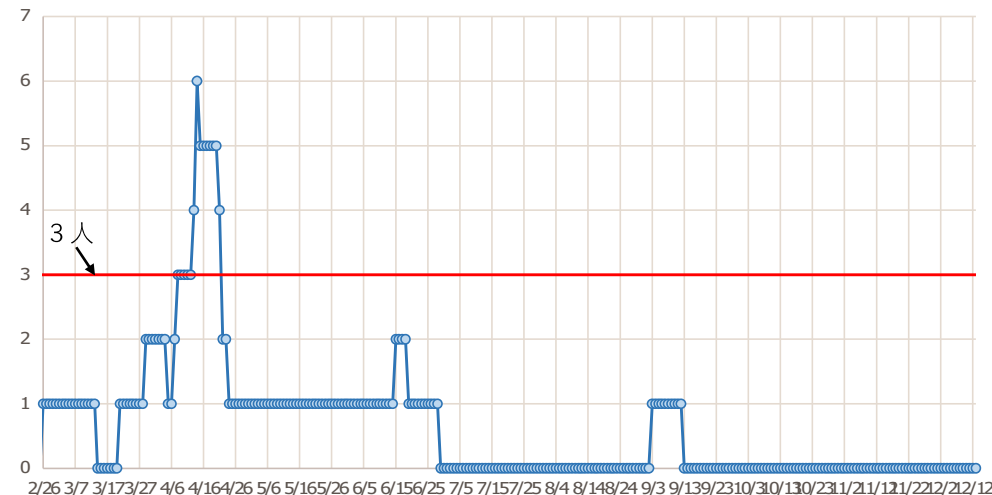
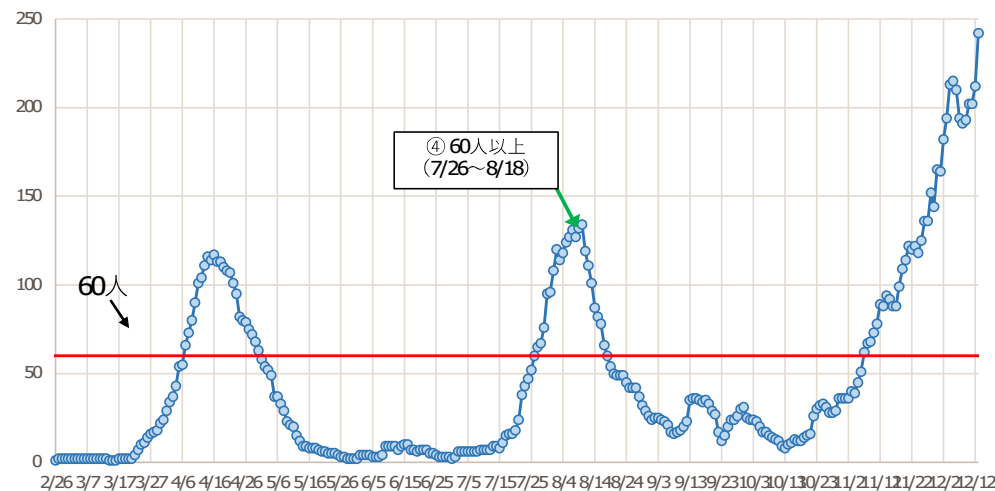
※ 新規感染者数 / 行政検査+病院・診療所等の検査件数の全件数（12月13日までに報告のあった件数）

38

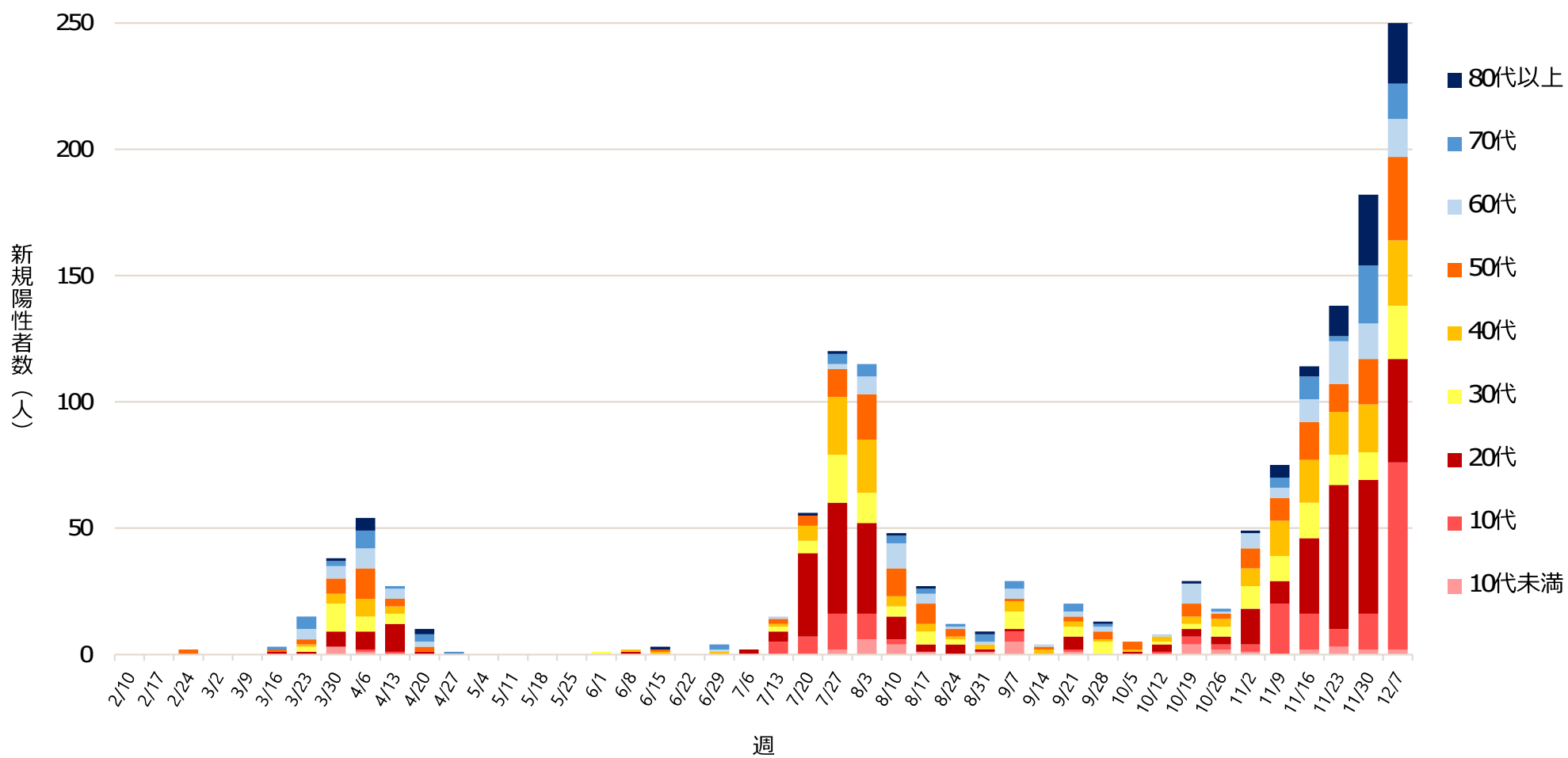


④入院患者数	60人以上	242人	基準を上回る	11月7日から (37日間)
--------	-------	------	--------	-------------------

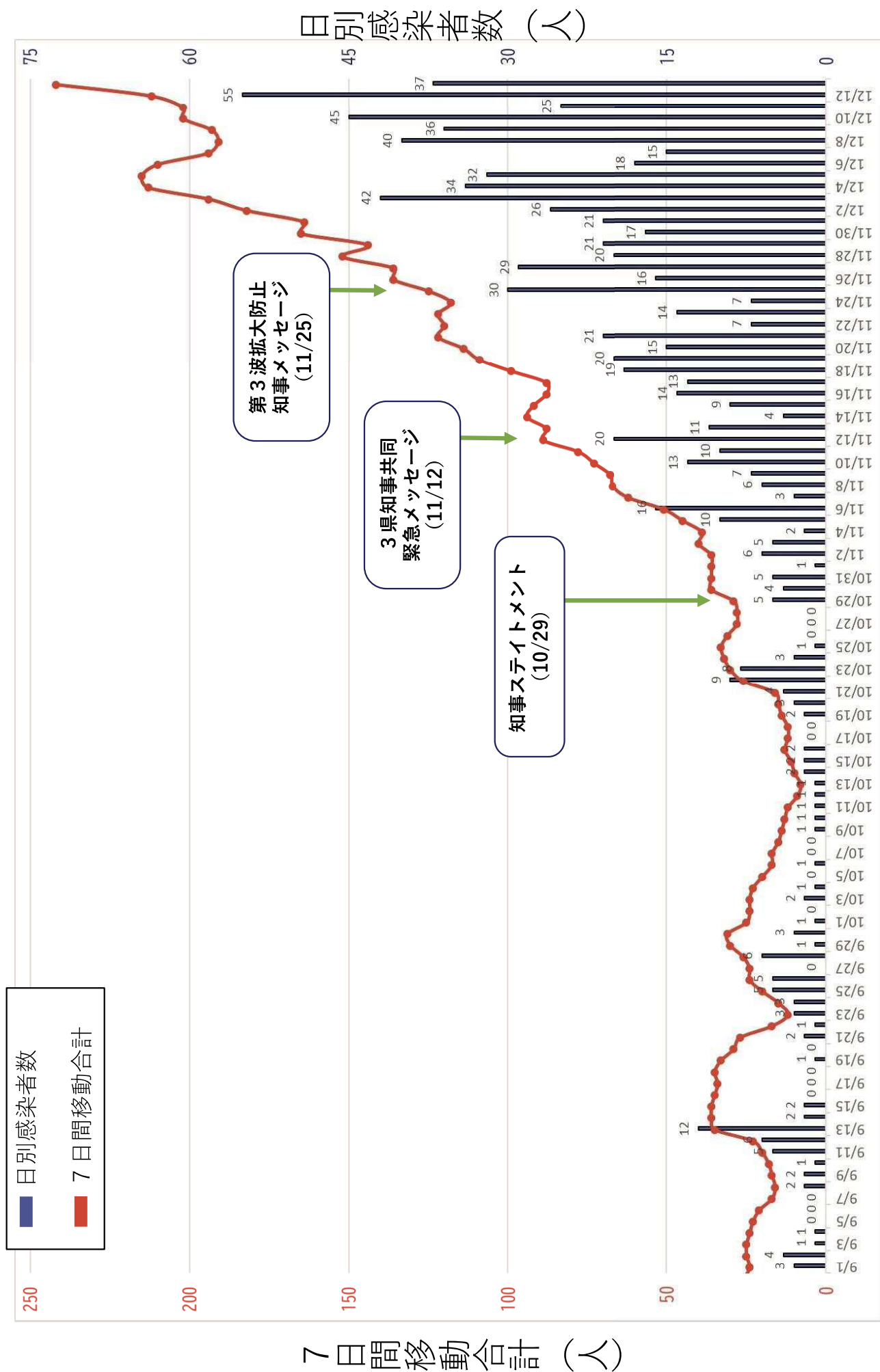
⑤重篤者数	3人以上	0人	基準を下回る	4月22日から (236日間)
-------	------	----	--------	--------------------



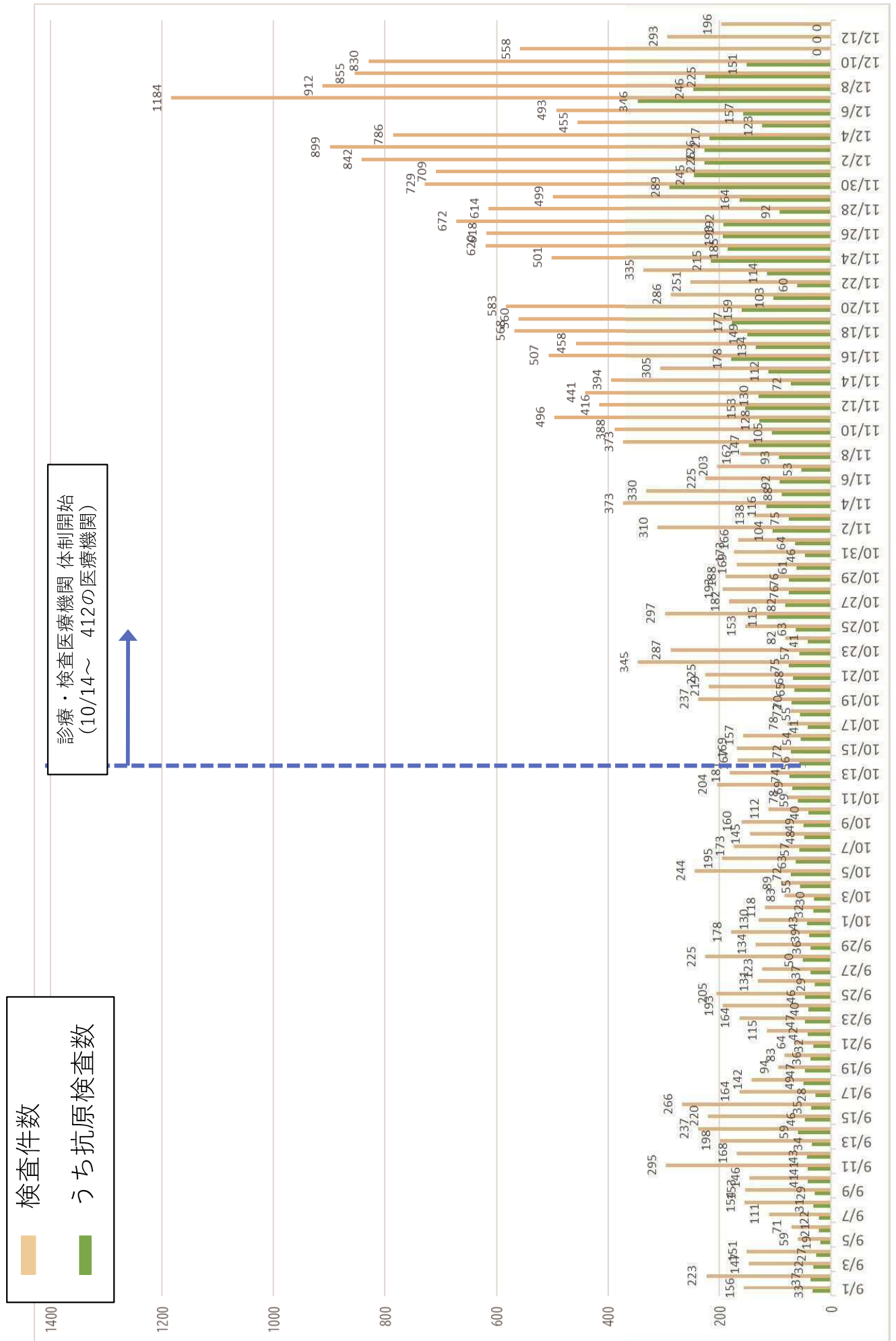
週別・年代別・新規患者数推移



岐阜県の感染状況について

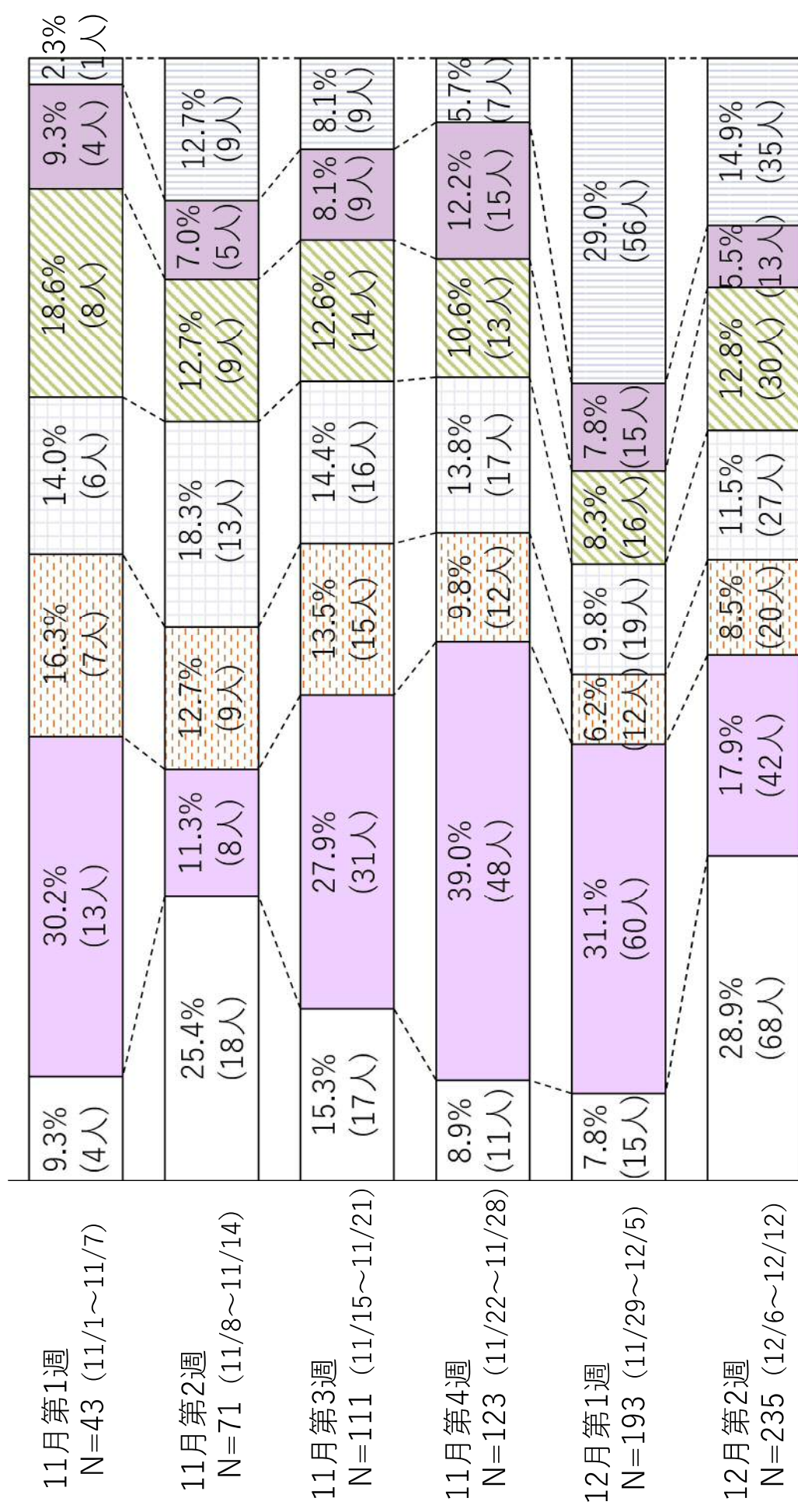


岐阜県の検査状況について



感染状況の分析 (1) 感染者の年齢構成

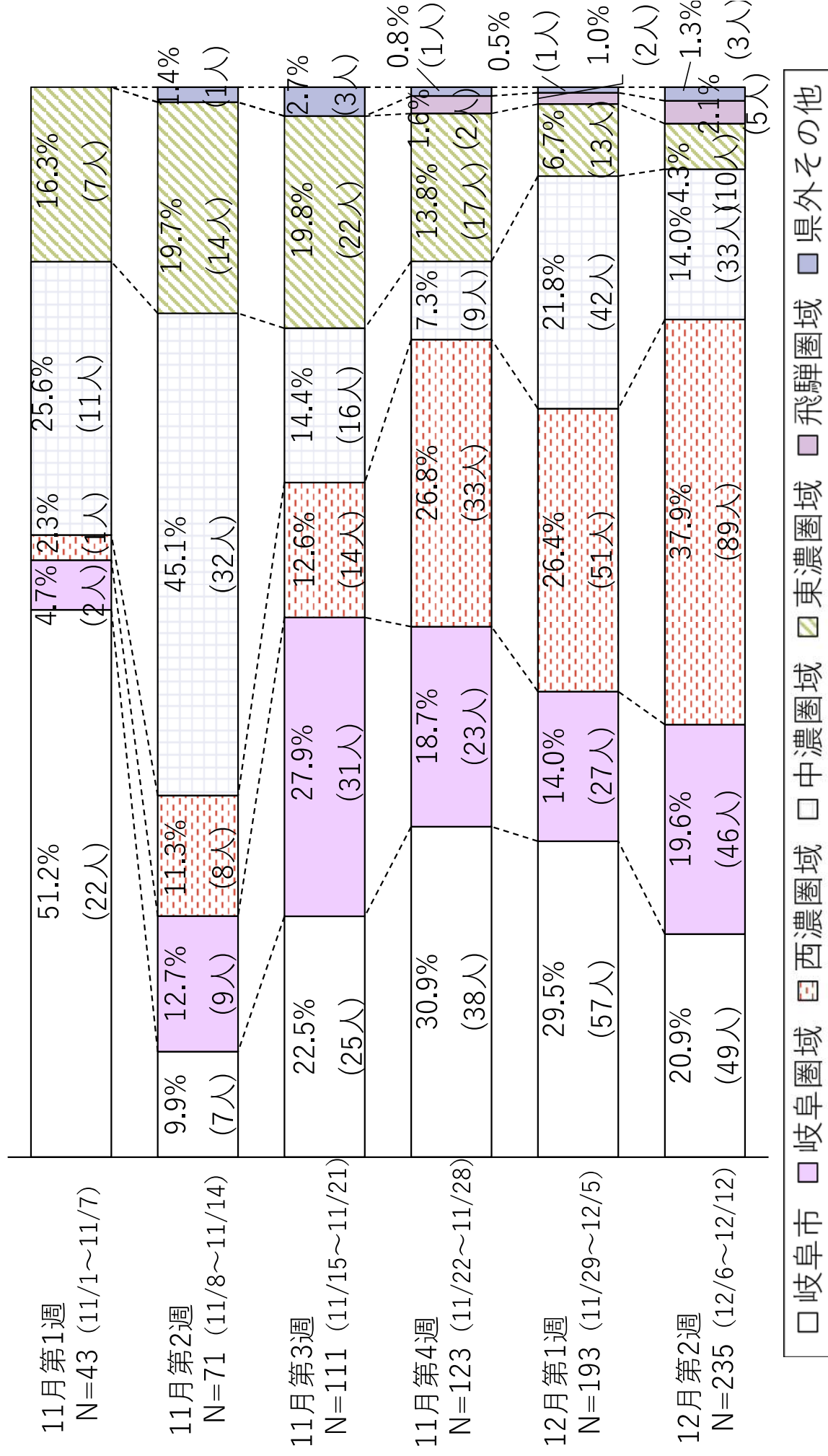
若者と高齢者での感染が拡大



□ 0~10代 □ 20代 □ 30代 □ 40代 □ 50代 □ 60代 □ 70代~

感染状況の分析 (2) 感染者の居住地

クラスターが発生している地域の割合(岐阜、西濃)が高い



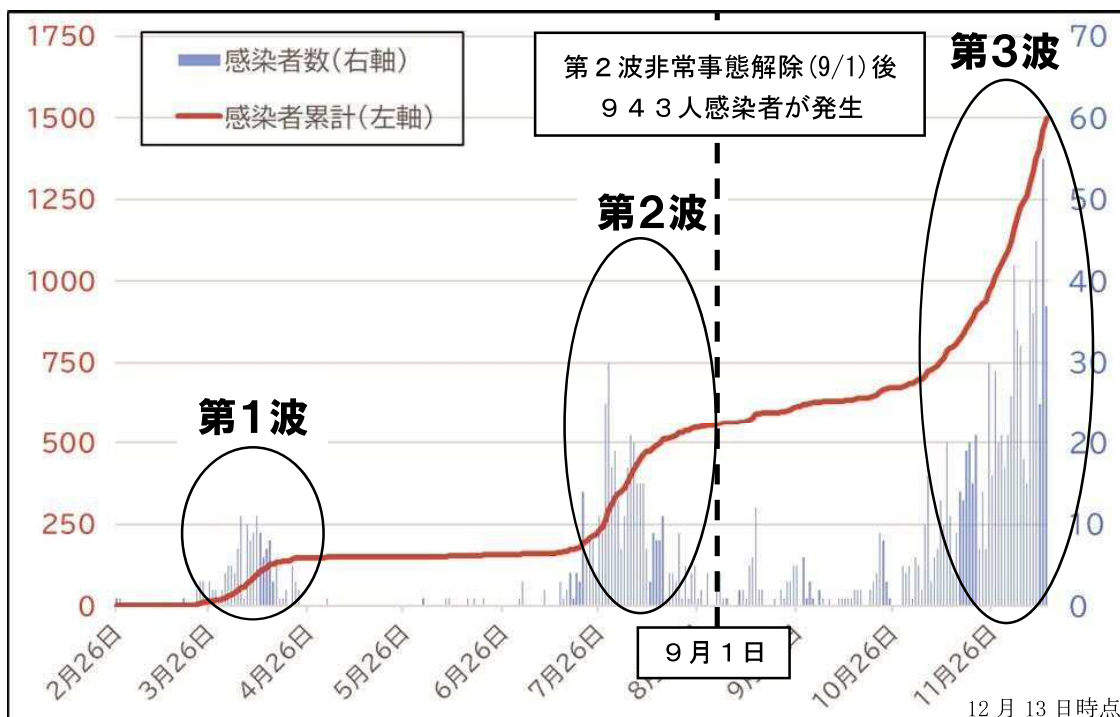
新型コロナウイルス感染症 第3波 「年末年始」集中 緊急対策

資料 2

令和2年12月14日
岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部

現状分析

県内では経験したことのない感染拡大に直面



- 1日55人の最多感染者を確認(12/12)
 - ・感染者数累計は1,498人、濃厚接触の疑いを含む約5万件の検査を実施
- 累計53のクラスターのうち、11月以降に29が発生
 - ・このうち、飲食店関連クラスターは11発生、院内感染クラスターも発生
- 入院患者数は242人、第2波ピークの1.8倍
 - ・第2波ピークは134人(8/10)、現在の病床等利用率は28%

【県内の感染拡大の特徴】

- (1) 「**県外由来**」が**4割**、うち**7割**が**愛知県由来**
- (2) 「**飲食**」を介しての感染が全体の**4分の1**
- (3) 「**外国人県民**」の感染が全体の**14%**(人口割合3%)
- (4) 「**福祉施設**」内感染が**立て続けに5件発生**

今、感染を止めないと、医療体制ひっ迫の危機

○ 本県の状況は、ちょうど1か月前の愛知県を超える状況

- ・愛知県では、11月13日の患者発生数は1日113人。
- ・この113人を本県人口規模に換算すると1日30人程度。

○ 確保病床は最大値。これ以上の拡大強化は極めて困難

- ・現在、本県の病床は最大625床、宿泊療養施設は466床。
 - 病床拡大は医師や看護師など人材の確保が不可欠。
 - 現時点で、追加で医療人材を確保することは極めて困難。

○ 連日100人規模の患者発生で病床ひっ迫

- ・以下の様な事態が県内でも起こりうる可能性が。
 - 医師が「要入院」と判断しても入院させる病床がない。
 - 同居家族への感染を避けるための宿泊療養施設がない。
 - 救急対応の制限や外来診療の休止など、一般診療に影響が生じる。
特に、心疾患や脳血管疾患など、重篤な疾病に対し緊急な対応に遅れが生じる。



**県民の皆さんの命を守り、医療崩壊を防ぐ
ためにも、患者発生をこれ以上増やさない
ための取組が必要です。**

※ 「受診・相談センター」は24時間体制で相談できる体制
を年末年始も維持（休日夜間連絡先：058-272-8860）

高感染リスクが多い年末年始の集中対策

1 県民の「行動」対策 [12/15(火)～1/12(火)]

(1) 県をまたぐ不要不急の往来、特に愛知県との往来を自粛

- 県をまたぐ「旅行」の自粛、「帰省」についても自制
- 特に、「忘年会」「クリスマス」「初詣」「新年会」「成人式の2次会」等の年末年始の高感染リスクの場は徹底回避。

※神社関係者、県内大学等高等教育機関との意見交換会を実施

(2) 飲食に関する対策

- 「酒類の提供を行う飲食店」への営業時間の短縮を特措法に基づき要請

【概要】（詳細は別紙1参照）

〔対象業種〕 酒類の提供を行う飲食店

※食品衛生法に基づく飲食店営業許可を受けている

店舗のうち酒類の提供を行う店舗

〔要請内容〕 時短要請 [夜9時以降～朝5時までの休業を要請]

〔要請期間〕 令和2年12月19日（土）21：00～

令和3年 1月12日（火） 5：00 [25日間]

〔対象エリア〕 岐阜市、大垣市、中津川市、羽島市、各務原市、瑞穂市

〔協力金〕 50万円（25日間実施した場合のみ支給）

- 「家族以外の大人数（5人以上）での飲食」、午後9時以降の「酒類を伴う飲食」、「接待を伴う飲食店利用」の自粛要請（飲食は、普段から一緒にいる人と少人数で）
- 「G○T○イート食事券」の新規発行の停止

2 「対象」を絞った対策

(1) 外国人県民の感染防止対策

- 外国人も受けやすい検査
 - ・ 専修学校等に「プライマリ・ケア・ドクター（かかりつけ医）」設置
 - ・ 県在住外国人相談センターに「COVID-19 外国語相談センター」設置
- 技能実習生への情報提供の徹底
 - ・ 監理団体（県内 1 2 4 団体）の連絡会議を設置し、技能実習生に係る感染防止対策を徹底
- 失業した外国人のための職業訓練の実施
 - ・ 特に「介護職」をターゲットに、現場で必要な日本語訓練を行った上で技術を習得
- 動画を活用した情報提供
 - ・ 外国人県民の視覚に訴える感染防止対策の説明動画の作成（5 言語に対応）
- 新しいスタイルの年末年始を推奨
 - ・ クリスマス、ニュー・イヤーは、家族と家で、仲間とオンラインで

(2) 福祉施設内感染対策

- 施設への個別指導の強化
 - ・ 県による「抜き打ち点検」の実施
 - ・ 重点項目（職員対策、施設内拡大防止対策）の取組状況を一斉確認
- 施設職員（特に若手職員）への感染対策の徹底
 - ・ 最近の感染・クラスター発生要因をわかり易く説明・周知
 - ・ 県配信動画による施設内研修の徹底
- 通所サービスへの対策強化
 - ・ 通所サービス用の「チェックリスト」を見直し、感染防止対策を再徹底
 - ・ 特に、施設利用者の利用時における体調チェックを徹底
- 「ぎふコロナガード」（感染対策担当者）の活用強化
 - ・ 福祉施設での「ぎふコロナガード」の設置徹底、チェックリストに応じた感染対策の実施を再徹底

年末年始における営業時間短縮要請の概要

1 要請内容

■ 営業時間の短縮要請

- ・ 午後 9 時から午前 5 時までの休業を要請
(特措法第 2 4 条 9 項に基づく要請)

2 要請期間

■ 飲酒を伴う会食の機会が増える年末年始

- ・ 令和 2 年 1 2 月 1 9 日 (土) 午後 9 時～
令和 3 年 1 月 1 2 日 (火) 午前 5 時 (2 5 日間)

3 対象業種

■ 酒類の提供を行う飲食店 (酒類の提供を行う、カラオケ店やライブハウス等を含む)

- ・ 食品衛生法に基づく「飲食店営業許可」を受けている店舗のうち、酒類の提供を行う店舗
※ テイクアウトやデリバリー、イートインスペースがあるスーパーやコンビニエンスストア、キッチンカー等は対象外

4 対象地域

■ 岐阜市全域、大垣市全域、中津川市全域、羽島市全域、各務原市全域、瑞穂市全域

5 協力金

■ 1 店舗ごとに 5 0 万円を支給

- ・ 要請を行う全期間 (2 5 日間)、営業時間の短縮を実施した店舗

岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金（第2弾）

実施概要（案）

協力金概要

■趣旨

日々感染拡大している新型コロナウイルス感染症の拡散抑制のため、県の要請に応じて対象期間中の全ての期間、営業時間の短縮にご協力いただける事業者に対して、協力金を支給いたします。

■支給額

1店舗当たり50万円

対象要件

下記の全てに該当すること

○酒類の提供を行う飲食店（酒類の提供を行う、カラオケ店やライブハウス等を含む）であること

※食品衛生法に基づく「飲食店営業許可」を受けている店舗のうち酒類の提供を行う店舗であること。

※岐阜県内の営業時間短縮要請の対象地域内に所在する店舗を運営する事業者であること。

※岐阜県の営業時間短縮要請期間（12月19日（土）より以前に開業しており、営業実態が明らかに確認できる事業者であること。

○岐阜県の営業時間短縮要請期間（令和2年12月19日（土）21：00から令和3年1月12日（火）5：00）において、営業時間の短縮要請に全面的にご協力いただいた事業者

※全面的とは上記要請期間の全てにおいて、要請地域内の対象店舗の営業時間の短縮にご協力いただくことをいいます。なお、対象事業者が要請期間内において終日対象店舗を休業した場合も対象となります。

※営業時間の短縮要請内容とは、夜9時以降～朝5時までの休業を要請することを言います。

○接待を伴う飲食店、カラオケ店、及びライブハウスについては、感染防止対策マニュアルを作成・提出し、その確認を受けていること。

○暴力団、暴力団等の反社会的勢力に属する者及び代表者又は役員が暴力団等となっている法人でないこと、また、暴力団等が経営に事実上参画していないこと。

申請手続

■申請受付期間

令和2年12月19日（土）～令和3年1月26日（火）

■申請方法

郵送のみ ※持参による申請は受付できません。

■申請に必要な書類（予定）

必要事項を記載した「協力金申請書」（法人にあっては「法人番号」を記載）の他、次の書類を添付して申請してください。

- ①協力金申請書（申請書、営業時間短縮を実施した店舗の内容、誓約書）
- ②営業実態が確認できる資料
 - ・確定申告書の写し及び営業短縮前直近の経理帳簿写し
 - ・店舗の内観、外観写真
- ③営業時間短縮状況が分かる書類の写し
 - ・時間短縮営業をしていることが第三者から見て明らかに分かるもの（例：休業期間を告知する自社WEBサイトの写しや店頭告知ポスターやチラシ）等
- ④酒類を提供していたことが分かる書類の写し
- ⑤営業に必要な許可等を全て取得していることが分かる書類（飲食店営業許可 等）
- ⑥感染防止対策マニュアル（接待を伴う飲食店、カラオケ店、ライブハウスのみ）
- ⑦振込先口座が分かる通帳等の写し
- ⑧本人確認書類

■協力金の支給

要請期間終了後、確認が取れた申請案件から速やかに支給開始予定

■問い合わせ先

岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金（第2弾）専用相談窓口

電話 058-272-8192 ※12月15日（火）から開設

各都道府県及び関係各府省庁においては、年末年始における忘年会・新年会・成人式等及び帰省の留意事項を、関係各所に周知いただくようお願いします。

事 務 連 絡

令和2年12月11日

各都道府県知事 殿

各府省庁担当課室 各位

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室

年末年始における忘年会・新年会・成人式等及び帰省の 留意事項について（周知依頼）

平素から新型コロナウイルスの感染防止対策の推進に御協力いただき感謝申し上げます。

本日、新型コロナウイルス感染症対策分科会から、別紙のとおり、政府に対して、「忘年会・新年会・成人式等及び帰省について」の提言をいただき、西村国务大臣からも国民に対して周知を行ったところです。

都道府県におかれては市区町村及び都道府県民への周知等を、関係各府省庁におかれては関係団体への周知等をそれぞれお願いします。

また、各都道府県及び関係各府省庁におかれては、所属する職員等に、忘年会・新年会・成人式等及び帰省の留意事項を注意喚起し、特に強い対策を実施している地域では、年末年始を静かに過ごすための工夫を徹底するようお願いします。

以上

（照会先）

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室

企画第1担当 宮坂・植田・石田・竹本・井上・寺井

直通 03（6257）3085

忘年会・新年会・成人式等及び
帰省についての提言
令和2年12月11日（金）

新型コロナウイルス感染症対策分科会

【はじめに】

- ・ 我々の社会は新型コロナウイルス感染症が流行してから初めての冬を迎えることになります。
- ・ 年末年始は我々の社会にとって特別な時期です。特に、半年以上、つらい思いをされてきた多くの皆さんは、年末年始こそは、お酒を酌み交わし、親族や親しい友人たちと旧交を温めたいと考えていると思います。
- ・ しかし、年末年始に人々の交流を通じて感染が全国的に拡大すると、さらに医療が逼迫し、結果的に経済も大きな打撃を被ります。
- ・ 命と暮らしを守るためには、社会を構成する一人ひとりが年末年始を静かに過ごすことが求められます。
- ・ 年末年始を迎えるに当たり、分科会としては、以下の提言を行いたいと思います。政府においては、本提言のメッセージを国民の皆さんに分かりやすく伝えて頂きたいと思います。

〔Ⅱ〕分科会から政府への提言

1. 全国の皆さんへ

年末年始を静かに過ごすために、以下の工夫をお願いします。

（１）忘年会・新年会

忘年会・新年会で最も大切なことは、なるべく普段から一緒にいる人と少人数で開催することです。その上で、

- ・ガイドラインを遵守している飲食店を選ぶ。
 - ・体調が悪い人は参加しない。
 - ・座の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避ける）。
 - ・会話する時は必ずマスクを着用。
 - ・短時間で、深酒やはしご酒などは控え、適度な酒量で。
 - ・お猪口やコップは使い回わず、一人ひとりで。
- といった「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」をして頂くようお願いします。

〔Ⅱ〕分科会から政府への提言（続き）

（２）成人式

成人式は、多くの新成人が久しぶりに地元に集まる機会です。しかし、この機会は「三密」や「感染リスクが高まる「５つの場面」」（添付）が生じやすい機会でもあります。主催者や参加者には、次の点について注意喚起をお願いします。

①主催者の方へ

- ・参加人数の制限。
- ・会場での飲食を控えることの徹底。
- ・会場での感染防止策の徹底（マスクの着用、手指消毒など）。

②参加者の方へ

- ・体調が悪い人は参加しないこと。
- ・会場やその周囲では密集をしないこと。
- ・式典の前後には飲食を控えること。
- ・仮に飲食をする場合には上記の忘年会・新年会の工夫を参照。

〔Ⅱ〕分科会から政府への提言（続き）

（３）初詣・カウントダウンイベントなど

初詣については、混雑する時期を避けて頂くようお願いします。境内での三密や、参拝後の混雑をできる限り避けるなど、感染防止策の徹底をお願いします。

また、年末年始は、カウントダウンイベント等が数多く行われます。これらのイベントでは、基本的な感染防止策を徹底するとともに、適切な雑踏警備等を検討してください。適切な行動管理が難しいと判断する場合には開催自粛等の対応をお願いします。

（４）年末年始の帰省

年末年始に、多くの人が帰省をお考えになっているかと思いますが、帰省する場合には、三密回避を含め基本的な感染防止策を徹底するとともに、特に大人数の会食を控えるなど、高齢者等への感染につながらないよう注意をお願いします。

そうした対応が難しいと判断される場合は、帰省について慎重に検討頂きますようお願いします。特に発熱等の症状がある方などは、帰省を控えて下さい。

帰省される場合には、年末年始の休暇を分散して取得するなど、混雑する時期を避けて頂くようにお願いします。

〔Ⅱ〕分科会から政府への提言（続き）

2. ステージⅢ相当の対策が必要となる地域の皆さんへ

ステージⅢ相当の対策が必要となる地域では、さらに対策を徹底するため、全国の皆さんにお願いした前述の内容から一歩踏み込んだ工夫をお願いしたいと思います。

- ・特に大人数の「忘年会・新年会」は見送り、オンライン忘年会・新年会を検討すること。
- ・「成人式」及び「その他年末年始に想定されるイベント」は、主催者はオンラインを活用した形での開催や開催時期、時間の分散化等、在り方について慎重に検討すること。
- ・「年末年始の帰省」は、時期の分散のみならず、延期も含め慎重に検討すること。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、感覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のほしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクログリッド飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋外ラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



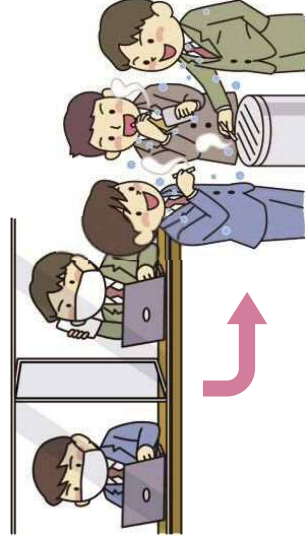
場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

<利用者>

- ・飲酒をするのであれば、①少人数・短時間で、
 - ②なるべく普段一緒にいる人と、
 - ③深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で。
- ・箸やコップは使い回わず、一人ひとりで。
- ・座の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避ける）。
（食事の際に、正面や真横に座った場合には感染したが、斜め向かいに座った場合には感染しなかった報告事例あり。）
- ・食べるときだけマスクを外し、会話の時はマスク着用。
（フェイスシールド・マウスシールド※¹はマスクに比べ効果が弱いことに留意が必要※²。）
 - ※¹ フェイスシールドはもともマスクと併用し眼からの飛沫感染防止のため、マウスシールドはこれまで一部産業界から使われてきたものである。
 - ※² 新型コロナウイルス感染防止効果については、今後さらなるエビデンスの蓄積が必要。
- ・換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドライン★を遵守したお店で。
- ・体調が悪い人は参加しない。

<お店>

- ・お店はガイドライン★の遵守を。

（例えば、従業員の体調管理やマスク着用、席ごとのアクリル板の効果的な設置、換気と組み合わせた適切な扇風機の利用などの工夫も。）

- ・利用者に上記の留意事項の遵守や、
接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを働きかける。

【飲酒の場面も含め、全ての場面でこれからも引き続き守ってほしいこと】

- ・基本はマスク着用や三密回避。室内では換気を良くして。
- ・集まりは、少人数・短時間にして。
- ・大声を出さず会話はできるだけ静かに。
- ・共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底を。

★従業員で感染者が出たある飲食店では、ガイドラインを遵守しており、窓を開けるなど換気もされ、客同士の間隔も一定開けられていたことから、利用客（100名超）からの感染者は出なかった。

飲食店等への啓発ポスター配布について

1 概要

感染経路が「飲食」と思われる事例が複数確認される中、年末年始の季節の行事などを控え、**マスクをした静かな会食に重点を置いた感染拡大防止の啓発**を実施する。

2 啓発ポスター（A3・横版）

- ・会食時に「マスクを外すのは飲食するときだけ」「会話をするときはマスク着用」であることを、**イラストで分かりやすく表示する。（英語翻訳付）**

3 配布計画

① 主な対象 4, 629 店舗・施設

配布先	店舗・施設数	配布方法	対応
飲食店	4,176 店舗	郵送、直接配布（691 店舗）	経済部
旅館・ホテル	45 施設	郵送	ぎふ魅力づくり推進部
スーパー	84 店舗	郵送	健康部
コンビニエンスストア	197 店舗	郵送	
ドラッグストア	120 店舗	郵送	
百貨店・ショッピングモール	7 施設	郵送（1 施設各 10 枚）	

※上記のほか、**庁内各部署**へポスターデータを提供し、**所管施設等に掲示**

② 配布スケジュール

17、18 日 配布（柳ヶ瀬、玉宮は直接配布、その他は郵送）

直接配布

- (1) 柳ヶ瀬…接待を伴う飲食店のうち、マニュアルを提出した店（437 店舗）
 担当 係長級以上の管理職 2 人 1 組 16 チーム
 日程 17、18 日 20～22 時
- (2) 玉 宮…飲食店（254 店舗）※岐阜横丁 41 店舗を除く
 担当 各課員（管理職以外） 6 エリアに分けて経済部各課へ振分け
 日程 17、18 日 16～18 時

岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議席表

令和2年12月15日

